

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2024年1月11日
【発行者名】	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長兼CEO 佐藤 秀樹
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー14階
【事務連絡者氏名】	塚本 直樹
【電話番号】	(03) 6447 - 3087
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	各ファンド1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【証券情報】

(1)【ファンドの名称】

インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）

インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジあり>（毎月決算型）

以下、両ファンドを総称して、またはそれぞれのファンドを「当ファンド」もしくは「ファンド」という場合があります。

また、「インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）」を「<為替ヘッジなし>」、「インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジあり>（毎月決算型）」を「<為替ヘッジあり>」という場合があります。

ファンドの愛称を「ザ・インカム」とします。

(2)【内国投資信託受益証券の形態等】

- ・ファンドの受益権は、追加型証券投資信託受益権（契約型）（以下「受益権」といいます。）で、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受けます。
- ・受益権の帰属は、後記「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。
社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。
- ・振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。
- ・委託会社は、やむを得ない事情などがある場合を除き、振替受益権を表示する受益証券を発行しません。
- ・委託会社の依頼により、信用格付業者から提供または閲覧に供された信用格付はありません。また、信用格付業者から提供または閲覧に供される予定の信用格付もありません。

(3)【発行（売出）価額の総額】

各ファンド1兆円を上限とします。

*受益権1口当たりの各発行価格に、各発行口数を乗じて得た金額の合計額です。

(4)【発行（売出）価格】

購入の申込受付日の翌営業日の基準価額¹とします。ただし、「分配金再投資コース」において、分配金を再投資する場合の発行価格は、各計算期間終了日の基準価額とします。

スイッチング²による発行価格も、購入の申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

1 基準価額は、委託会社の営業日に日々算出されます。ファンドの基準価額は、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に<為替ヘッジなし>は「高利回り無」、<為替ヘッジあり>は「高利回り有」の銘柄名で掲載されます。また、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

2 当ファンドを構成する各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの方法等は、購入、換金の場合と同様です。スイッチングとは、当ファンドを構成するいずれかのファンドを換金した場合の換金代金をもって、その換金の申込日に他の構成ファンドの購入の申し込みが行われ、かつ当該購入の申し込みの受け付けにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものをいいます。なお、販売会社によっては、一部のファンドのみの取り扱いとなる場合や全部または一部のファンド間でスイッチングが行えない場合があります。スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。詳しくは、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。

(5)【申込手数料】

- ・ 購入時手数料¹は、購入口数、購入金額²または購入代金³などに応じて、購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める3.85%（税抜き3.50%）以内の手数料率を乗じて得た額とします。

詳しくは、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。販売会社の詳細は、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

1 購入時手数料には、購入時手数料にかかる消費税および地方消費税に相当する金額（以下「消費税等相当額」といいます。）がかかります。

2 「購入金額」とは、「購入の申込受付日の翌営業日の基準価額×購入口数」により計算される金額をいいます。

3 「購入代金」とは、「購入金額+購入時手数料（税込み）」により計算される金額をいいます。

- ・ 「分配金再投資コース」において分配金を再投資する場合は、無手数料とします。

(6)【申込単位】

購入単位は、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。販売会社の詳細は、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

* 「分配金再投資コース」において分配金を再投資する場合は、1口単位とします。

(7)【申込期間】

継続申込期間：2024年1月12日から2024年7月10日まで

* 継続申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

(8)【申込取扱場所】

販売会社において、お申し込みを取り扱います。販売会社の詳細は、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

(9)【払込期日】

購入申し込みを行う投資者は、販売会社の定める日までに、購入代金をお申し込みの販売会社にお支払ください。

継続申込期間における各購入申込日の発行価額の総額は、追加信託が行われる日に、販売会社によって、委託会社の指定する口座を經由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

(10)【払込取扱場所】

販売会社において、払い込みを取り扱います。販売会社の詳細は、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

(11)【振替機関に関する事項】

ファンドの受益権にかかる振替機関は、株式会社証券保管振替機構です。

* ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、振替機関の振替業にかかる業務規程などの規則に従って取り扱われます。

* ファンドの分配金、償還金、換金代金は、社振法および振替機関の業務規程その他の規則に従って支払われます。

(12)【その他】

- ・ 申込証拠金はありません。
- ・ 購入代金には利息を付しません。
- ・ 日本以外の地域における発行はありません。
- ・ クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
- ・ ニューヨークまたはルクセンブルグのいずれかの銀行休業日に該当する日には、購入のお申し込みの受付けを行いません。
- ・ ファンドに関する照会先は以下のとおりです。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせダイヤル 03-6447-3100

受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

ファンドの目的

ファンドの目的	世界の先進国および新興国の公社債等（国際機関債を含みます。）を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。 ファンドは、投資信託証券を主要投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。「実質的な主要投資対象」とは、投資信託証券を通じて投資する投資対象をいいます。ファンドは、「インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド」および「インベスコ マネーブル・ファンド（適格機関投資家私募投信）」を投資対象とし、「インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド」の組入比率は原則として高位を保ちます。
---------	--

信託金の限度額

信託金の限度額	委託会社は、受託会社と合意のうえ、各ファンド金5,000億円を限度として信託金を追加することができます。 委託会社は、受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。
---------	---

ファンドの基本的性格

a. ファンドの商品分類

商品分類項目		商品分類の定義	
単位型・追加型の別	単位型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンド	
	追加型投信		
投資対象地域	国内	目論見書または信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの	
	海外		
	内外		
投資対象資産	株式	目論見書または信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるもの	
	不動産投信		その他資産
	資産複合		

* ファンドの商品分類を網掛け表示しております。該当する定義は上記のとおりですが、その他の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<https://www.toushin.or.jp/>）をご覧ください。

b. ファンドの属性区分

属性区分項目		属性区分の定義	
投資対象 資産	株式	目論見書または信託約款において、その他資産（投資信託証券）を投資対象とする旨の記載があるもの ファンドが投資対象とする投資信託証券は、債券（一般）を投資対象としており、ファンドの実質的な投資収益の源泉は債券（一般）です	
	（一般）		（大型株）
	（中小型株）		
	債券		
	（一般）		（公債）
	（社債）		（その他債券）
	（クレジット属性）		
不動産投信			
その他資産（投資信託証券（債券 一般））			
資産複合			
	（資産配分固定型）	（資産配分変更型）	
決算頻度	年1回	年2回	
	年4回	年6回（隔月）	
	年12回（毎月）	日々	
	その他		
投資対象 地域	グローバル	日本	
	北米	欧州	
	アジア	オセアニア	
	中南米	アフリカ	
	中近東（中東）	エマージング	
投資形態	ファミリーファンド		
	ファンド・オブ・ファンズ		
為替 ヘッジ	< 為替ヘッジなし > : 為替ヘッジなし		
	< 為替ヘッジあり > : 為替ヘッジあり （フルヘッジ）		

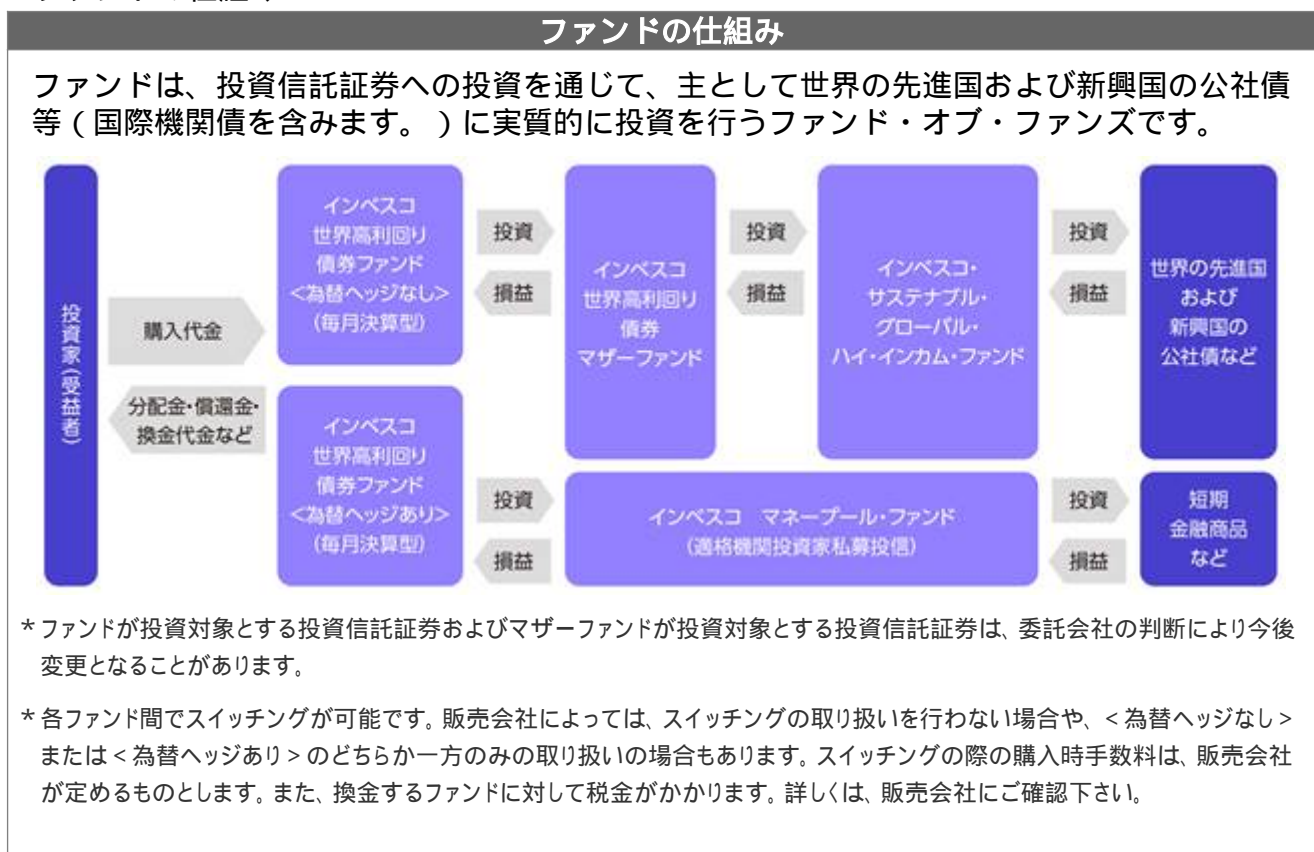
属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

* ファンドの属性区分を網掛け表示しております。該当する定義は上記のとおりですが、その他の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<https://www.toushin.or.jp/>）をご覧ください。

ファンドの特色

1.	<p>世界の高利回り債券に投資します。</p> <p>主として、世界のハイ・イールド債券および新興国公社債に実質的に投資します。</p>
2.	<p>トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行い、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。</p>
3.	<p>為替変動リスクについて、対応の異なる2つのファンドがあります。</p> <p><為替ヘッジなし>では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。</p> <p><為替ヘッジあり>では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p>
4.	<p>原則として、毎月15日（同日が休業日の場合は翌営業日）の決算日に分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。</p> <p>* 上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。</p>

ファンドの仕組み



ファンドのポイント

ファンドのポイント

主として、世界のハイ・イールド債券および新興国公社債に実質的に投資し、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。

【ハイ・イールド債券とは】

信用格付において、BB (Ba) 以下の債券を指します。一般的に、ハイ・イールド債券は信用力が低いため、その分利回りが相対的に高くなります。

【新興国公社債とは】

一般に新興成長国、エマージング諸国等と認識される国・地域や、その現地企業等が発行する政府債、政府機関債、社債等のことです。一般的にこれらの国々の公社債は、先進国の公社債と比較して利回りが高くなります。

【信用格付と信用力・利回りの関係について】

		S&P	Moody's	
低 ↑ 利回り ↓ 高	高 ↑ 信用力 ↓ 低	投資適格債券	AAA	Aaa
		AA	Aa	
		A	A	
		BBB	Baa	
		ハイ・イールド債券	BB	Ba
		B	B	
		CCC	Caa	
		CC	Ca	
		C	C	

ファンドが投資対象とする新興国の例

中南米・カリブ諸国	アジア	欧州・中東・アフリカ
アルゼンチン	フィリピン	ポーランド
メキシコ	マレーシア	エジプト
ブラジル	中国	トルコ
パナマ	インドネシア	南アフリカ
チリ		
ペルー		
コロンビア		
他	他	他

*但し、上記以外の新興国の公社債に投資する場合があります。

ファンドの運用プロセス

運用プロセス

トップダウンとボトムアップを融合し、ポートフォリオを構築します。リスク管理とパフォーマンスの要因を、多面的にモニタリングします。



* 上記はファンドの実質的な投資対象であるインベスコ 世界高利回り債券 マザーファンドが投資する投資信託証券における運用プロセスです。

ファンドの運用プロセス等は、2023年10月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき、およびこれらに準ずる事態が生じたとき、あるいは投資信託財産の規模が上記の運用を行うに適さないものとなったときは、上記の運用ができない場合があります。

*当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、償還の準備に入ったときなどが含まれます。

< 投資対象とする投資信託証券の概要 >

投資対象とする投資信託証券は、委託会社の判断により変更することがあります。

インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド	
形態	証券投資信託（親投資信託）
主要投資対象	主として別に定める投資信託証券 に投資します。 別に定める投資信託証券については、後記「（参考）マザーファンドが投資対象とする投資信託証券の概要」をご覧ください。
主な投資態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別に定める投資信託証券 への投資を通じて、主として世界の先進国および新興国の公社債等（国際機関債を含みます。）に実質的に投資します。 ・ 投資信託証券への投資割合は、原則として、高位に保ちます。 ・ 実質外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 ・ 投資対象とする投資信託証券は、委託者の判断により変更することがあります。 ・ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき、およびこれらに準ずる事態が生じたとき、あるいは投資信託財産の規模が上記の運用を行うに適さないものとなったときは、上記の運用ができない場合があります。 別に定める投資信託証券については、後記「（参考）マザーファンドが投資対象とする投資信託証券の概要」をご覧ください。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・ 株式への直接投資は行いません。 ・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・ デリバティブ取引の直接利用は行いません。
信託報酬等	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
委託会社	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
決算日	毎年4月15日および10月15日（同日が休業日の場合は翌営業日）

インベスコ マネーボール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

形態	証券投資信託
主要投資対象	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
主な投資態度	<ul style="list-style-type: none"> ・残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期公社債および短期金融商品への投資により、利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローン等で運用を行うことにより流動性の確保を図ります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・株式への投資は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券、社債権者割当または株主割当により取得した株券および優先株券に限りません。 ・投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資は行いません。 ・デリバティブ取引は利用しません。
信託報酬等	<p>信託報酬：純資産総額に対して年率0.55%（税抜き0.50%）以内の率 信託報酬の内訳：委託会社年率0.2222%以内、販売会社年率0.2222%以内、受託会社年率0.0556%以内（いずれも税抜き）</p> <p>*この他、監査費用および売買手数料等の各種費用がかかります。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
委託会社	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
決算日	毎年11月20日（同日が休業日の場合は翌営業日）

(参考) マザーファンドが投資対象とする投資信託証券の概要

ファンド名	インベスコ・サステナブル・グローバル・ハイ・インカム・ファンド
シェアクラス	クラスC-SD投資信託証券（米ドル建て）
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人
主要投資対象	世界のハイ・イールド債券および新興国の公社債等（国際機関債を含みます。）に投資します。
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、世界のハイ・イールド債券および新興国の公社債等（国際機関債を含みます。）に投資することにより、投資信託財産の長期的な成長および高い収益の確保を目指します。 ・純資産総額の10%を超えない範囲で、公社債への直接投資の代替として、仕組債に投資することがあります。 ・投資目的および効率的な運用のため、デリバティブ取引を行うことがあります。 ・原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
運用管理費用	当ファンドの平均純資産総額の年率0.75%に相当する額とします。
その他の費用	<p>管理事務代行報酬（当ファンドの平均純資産総額の年率0.20%を超えない額）、監査費用、売買手数料、保管費用等の各種費用がかかります。</p> <p>管理事務代行会社、登録・名義書換事務代行会社等への報酬をいいます。</p>
申込手数料	ありません。
解約手数料	ありません。
管理会社	インベスコ・マネジメント・エス・エイ
投資顧問会社	インベスコ・アドバイザーズ・インク
決算日	毎年2月末日
分配方針	分配は2月および8月の最終営業日に行われ、翌月の11日（ファンド営業日でない場合は翌営業日）に支払われます。

ファンドが投資対象とする投資信託証券およびマザーファンドが投資対象とする投資信託証券は、委託会社の判断により今後変更となることがあります。

(2) 【ファンドの沿革】

2015年5月1日	信託契約締結、ファンド設定、運用開始
-----------	--------------------

(3) 【ファンドの仕組み】

ファンドの運営の仕組み

a. ファンドの関係法人の概要



b．委託会社およびファンドの関係法人の役割

委託会社 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社	投資信託財産の運用指図、信託約款の届け出、受託会社との信託契約の締結・解約の実行、受益権の発行、投資信託説明書（交付目論見書）・投資信託説明書（請求目論見書）・運用報告書の作成、投資信託財産の計算（受益権の基準価額の計算）および投資信託財産に関する帳簿書類の作成などを行います。
受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 <再信託受託会社> 日本マスタートラスト信託銀行株式会社	委託会社との信託契約の締結、投資信託財産の保管・管理・計算などを行います。 なお、日本マスタートラスト信託銀行株式会社に信託事務の一部を委託することがあります。
販売会社	受益権の募集・販売の取り扱いを行い、投資信託説明書（交付目論見書）・投資信託説明書（請求目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資に関する事務などを行います。

c．委託会社がファンドの関係法人と締結している契約等の概要

受託会社と締結している契約： 証券投資信託契約	信託約款に基づき締結され、運用方針、投資制限、委託会社・受託会社の業務、受益者の権利、信託報酬の総額、信託期間などファンドの運営に関する事項が規定されています。
販売会社と締結している契約： 受益権の募集・販売等に関する契約	受益権の募集・販売の取り扱い、分配金・換金代金・償還金の支払いに関する事務、その他これらに付随する事務および手続きなどの内容が規定されています。

委託会社等の概況

名称（商号等）	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社 （金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号）			
資本金	4,000百万円（2023年10月31日現在）			
沿革	<p>1986年：エムアイエム・トウキョウ株式会社（後のインベスコ投資顧問株式会社）設立</p> <p>1990年：エムアイエム投信株式会社（後のインベスコ投信株式会社）設立</p> <p>1996年：インベスコ投資顧問株式会社とインベスコ投信株式会社が合併し、インベスコ投信投資顧問株式会社に社名変更</p> <p>1998年：エル・ジー・ティー投信・投資顧問株式会社と合併</p> <p>2014年：インベスコ・アセット・マネジメント株式会社に社名変更</p>			
大株主の状況	（2023年10月31日現在）			
	名称	住所	所有株式数	所有比率
	インベスコ・ ファー・イー スト・リミ テッド	Perpetual Park, Perpetual Park Drive, Henley-on-Thames, Oxfordshire, RG9 1HH, United Kingdom	40,000株	100%

2【投資方針】

(1)【投資方針】

基本方針	この投資信託は、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。
主な投資態度	<ul style="list-style-type: none">・ マザーファンド受益証券を通じて、別に定める投資信託証券へ投資し、主として世界の先進国および新興国の公社債等（国際機関債を含みます。）に実質的に投資します。・ マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。・ インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）を通じて、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。・ 実質外貨建資産については、以下の運用を行います。<ul style="list-style-type: none"><為替ヘッジなし> 原則として、対円での為替ヘッジを行いません。<為替ヘッジあり> 原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。・ マザーファンド受益証券を通じて投資対象とする投資信託証券は、委託者の判断により変更することがあります。・ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき、およびこれに準ずる事態が生じたとき、あるいは投資信託財産の規模が上記の運用を行うに適さないものとなったときは、上記の運用ができない場合があります。

(2)【投資対象】

投資対象とする資産の種類（特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるもの））	<ul style="list-style-type: none"> a . 有価証券 b . 約束手形 c . 金銭債権
投資対象とする資産の種類（特定資産以外の資産）	<ul style="list-style-type: none"> a . 為替手形
投資対象とする有価証券	<p>委託会社は、信託金を、主としてマザーファンドの受益証券およびインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）の受益権のほか、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> a . コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等 b . 外国法人が発行する譲渡性預金証書 c . 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
投資対象とする金融商品	<p>委託会社は、信託金を、以下の金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> a . 預金 b . 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。） c . コール・ローン d . 手形割引市場において売買される手形 <p>* 前記「投資対象とする有価証券」にかかわらず、ファンドの設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を上記の金融商品により運用することができます。</p>

(3) 【運用体制】

ファンドの運用体制の概要	
内部管理および意思決定を監督する組織	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス部（4名程度）は、ファンドのガイドラインの遵守状況のモニタリングを行い、その結果異常がある場合、リスク管理委員会に報告します。 ・プロダクト・マネジメント本部（20名程度）は、投資対象となる投資信託証券のパフォーマンス状況などを、運用リスク管理委員会に報告し、定性・定量面におけるモニタリングを継続的に実施します。 ・運用リスク管理委員会（10名程度）は、プロダクト・マネジメント本部からの報告を基に、運用の適切性・妥当性を検証、審議して、その結果をリスク管理委員会へ報告します。 <p>* 「3 投資リスク (3)投資リスクに対する管理体制」もご覧下さい。</p>
運用に関する社内規程	ファンドの運用業務およびリスク管理について、それぞれ社内規程を定めています。
ファンドの関係法人に対する管理体制	受託会社などの管理・統制については、外部監査法人による「内部統制監査報告書」を入手し、検証・モニタリングなどを行っております。

上記運用体制における組織名称等は、2023年10月31日現在のものであり、委託会社の組織変更などにより変更となる場合があります。

(4)【分配方針】

<p>ファンドの決算日 分配方針</p>	<p>毎月15日（同日が休業日の場合は翌営業日）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰り越し分を含む配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・ 分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 ・ 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。
<p>分配金の支払い</p>	<p>a. 「分配金再投資コース」 分配金は、税引き後無手数料で再投資されます。</p> <p>b. 「分配金受取りコース」 分配金は、原則として決算日から起算して5営業日目までに販売会社でお支払いを開始します。</p> <p>* 分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該分配金にかかる決算日以前において、一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で、取得申込代金支払い前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については、原則として取得申込者とします。）に支払います。</p> <p>* 「分配金再投資コース」の分配金の再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。</p>

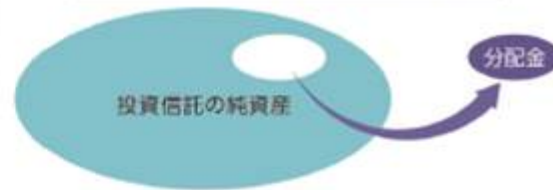
* 当ファンドが主要投資対象とするマザーファンドは、2015年5月1日から5月11日までの期間に主に投資を行っていたインベスコ グローバル・ハイ・インカム・オープン（適格機関投資家私募投信）から支払われた33,597,624円の分配金を2015年5月12日に計上しました。かかる分配金は当ファンドの運用者として行ったポートフォリオマネジメントの結果に由来するものではなく、したがって、当ファンドの将来的な分配金の予測材料とするべきではありません。

上記は、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

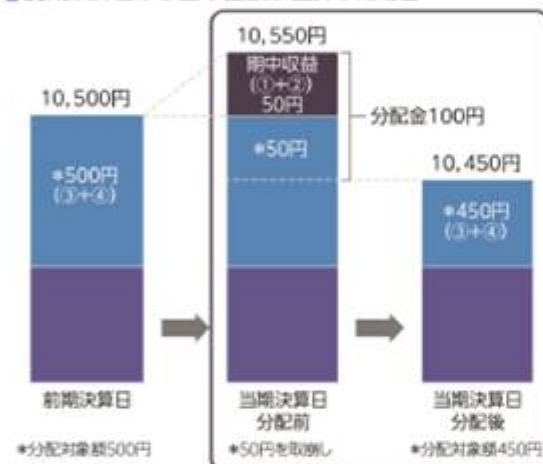
投資信託で分配金が支払われるイメージ



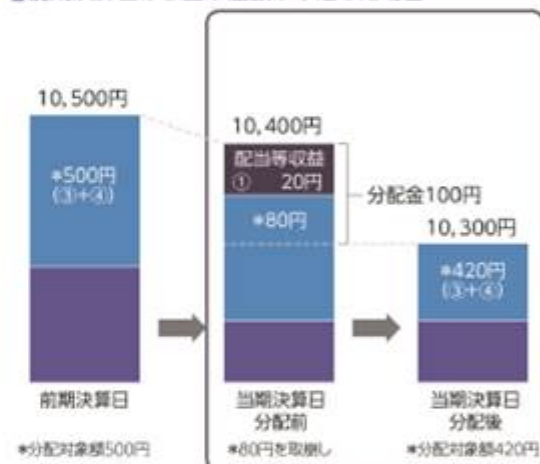
分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合



■ 前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

* 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



* 元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金	個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金)	個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、後掲「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

(5) 【投資制限】

信託約款上の投資制限

投資信託証券への投資制限（運用の基本方針）	投資信託証券（マザーファンド受益証券を含みます。）への投資割合には、制限を設けません。
株式への投資制限（運用の基本方針）	株式への直接投資は行いません。
外貨建資産への投資制限（運用の基本方針）	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 実質投資割合とは、ファンドに属する資産の時価総額と、投資対象する投資信託証券に属する資産のうちファンドに属するとみなした額（ファンドに属する投資信託証券の受益証券の時価総額に、投資信託証券の純資産総額に占める当該資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。）との合計額のファンドの純資産総額に対する割合をいいます。以下同じです。
デリバティブ取引の利用（運用の基本方針）	デリバティブ取引の直接利用は行いません。
信用リスク集中回避のための投資制限（第19条）	一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャー及びデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する実質比率は、原則としてそれぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該実質比率を超えることとなった場合には、委託会社は一般社団法人投資信託協会の規則にしたがい当該実質比率以内となるよう調整を行うものとしします。
特別の場合の外貨建有価証券への投資制限（第20条）	わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、外貨建有価証券への投資が制約されることがあります。
外国為替予約取引の指図（第21条）	投資信託財産に属する実質外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
資金の借り入れ（第27条）	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託財産の効率的な運用および運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借り入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。 ・当該借入金をもって有価証券等の運用は行いません。 ・借入金の利息は投資信託財産中から支弁します。

上記の投資制限の詳細は、信託約款をご覧ください。

法令に基づく投資制限

デリバティブ取引にかかる投資制限（金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号）	委託会社は、信託財産に関して、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的方法により算出した額が当該信託財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書にかかる取引および選択権付債券売買を含みます。）を行い、または継続することを受託会社に指図しません。
同一の法人の発行する株式の投資制限（投資信託及び投資法人に関する法律第9条）	委託会社は、同一の法人の発行する株式について、委託会社が運用指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき投資信託財産として保有する当該株式にかかる議決権の総数が、当該株式にかかる議決権総数の100分の50を超えることとなる場合、投資信託財産をもって取得することを受託会社に指図しません。

3【投資リスク】

投資信託はリスクを含む商品であり、ファンドは実質的に国内外の債券など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

委託会社の指図に基づく行為により投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

投資信託は預貯金とは異なります。

投資信託は、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。

ご投資家の皆さまにおかれましては、ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申し込みください。

(1)基準価額の変動要因

<p>価格変動リスク (債券)</p>	<p>《債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です。》 債券の価格は、金利動向（一般的に金利が上昇した場合、価格は下落します。）、政治・経済情勢、発行体の財務状況や業績の悪化などを反映し、下落することがあります。 ハイ・イールド債（投資適格未満債）は、投資適格の債券と比べ、「価格変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」が高い傾向にあります。</p>
<p>価格変動リスク (デリバティブ)</p>	<p>《デリバティブの価格の下落は、基準価額の下落要因です。》 デリバティブ（金融派生商品）の価格は、対象となる指標（金利、通貨、クレジットなど）の動向などを反映し、下落することがあります。また対象となる指標と異なる動きをする場合もあります。</p>
<p>信用リスク</p>	<p>《発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。》 ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品やデリバティブ取引等の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。</p>
<p>カントリー・リスク</p>	<p>《投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。》 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。 新興国・地域への投資は、先進国への投資に比べ、「カントリー・リスク」「価格変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」が高い傾向にあります。</p>

為替変動リスク	<p><為替ヘッジなし> 《為替の変動（円高）は、基準価額の下落要因です。》 為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。</p> <p><為替ヘッジあり> 《為替の変動（円高）が基準価額に与える影響は限定的です。》 為替ヘッジ（原則としてフルヘッジ）を行い為替変動リスクの低減に努めますが、為替変動の影響を完全に排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。</p> <p>なお、ファンドの実質的な主要投資対象は米ドル建ての外国投資信託証券です。<為替ヘッジあり>では、米ドルについて対円での為替ヘッジを行います。当該外国投資信託証券を通じて米ドル建て以外の資産に投資する場合、<為替ヘッジあり>においても米ドルに対する当該通貨の為替変動の影響を受けることがあります。</p>
流動性リスク	<p>《流動性の低い有価証券等は、不利な条件での売買となる可能性があります。》 市場規模が小さい、または取引量が少ない有価証券等については、市場実勢から期待される価格で売買できない場合や、希望する数量の一部またはすべての売買ができない可能性があります。</p>

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

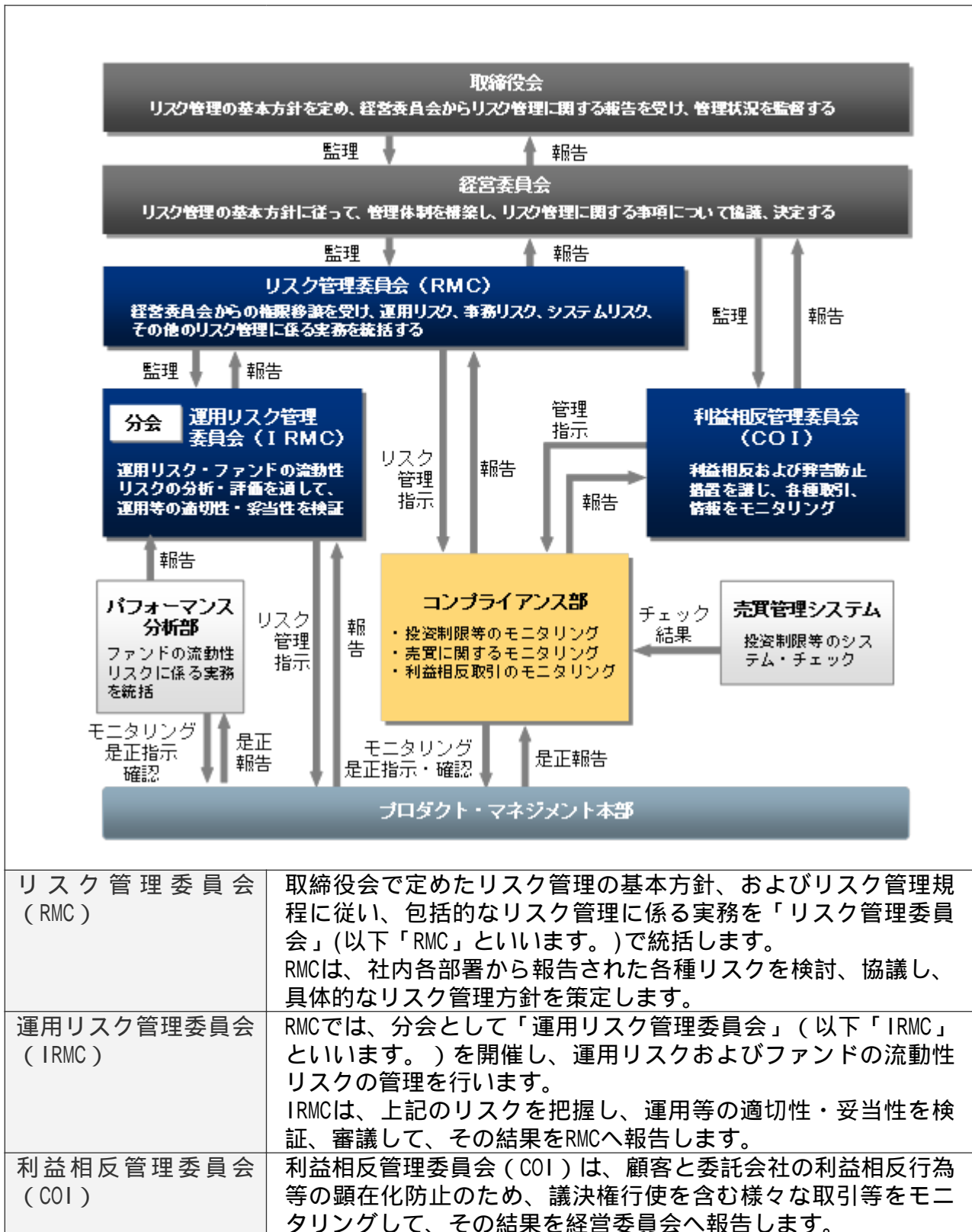
(2)その他の留意点

投資信託に関する留意点

換金に関する留意点	<p>ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等が生じた場合は、当初期待された価格や数量で有価証券等を売却できないことや取引に時間を要することがあるため、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの要因等により有価証券等の売却・換金が困難となった場合や、資金の受け渡しに関する障害が発生した場合は、ファンドの換金のお申し込みの受付中止（既にお申し込みを受け付けた場合を含みます。）や換金資金のお支払いの遅延となる可能性があります。</p>
ファミリーファンド方式に関する留意点	<p>マザーファンド受益証券に投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入有価証券等の売買が行われた場合などには、組入有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。</p>

(3)投資リスクに対する管理体制

投資リスク管理体制の概要



関係部署の役割

コンプライアンス部	ファンドの信託約款や法令等で規定されているガイドラインの遵守状況などをモニタリングし、その結果異常があればRMCに報告し、必要に応じてプロダクト・マネジメント本部へ是正を指示し、是正状況を確認します。
プロダクト・マネジメント本部	投資対象となる投資信託証券のパフォーマンス状況、ファンドの流動性管理の状況などをIRMCに報告し、定性・定量面におけるモニタリングを継続的に実施します。また、ファンドの流動性に関する緊急時対応策の有効性を検証し、その結果をIRMCに報告します。
パフォーマンス分析部	ファンドの流動性リスクに係るモニタリングや是正措置の策定などの実務を統括し、その結果をIRMCに報告します。

(参考) 投資対象ファンドにおける投資リスク管理体制

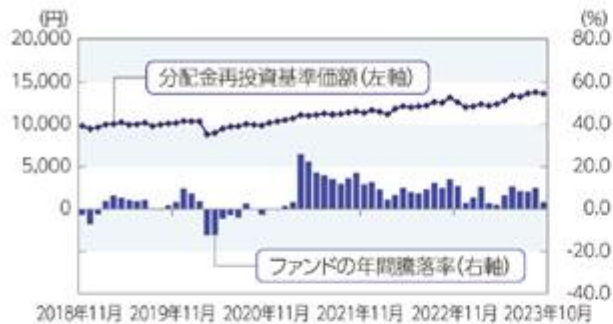
システムによる管理	売買管理システムにより、投資ガイドラインや投資制限等の違反となる取引を事前に回避し、違反の可能性がある場合には、運用部門に警告を發します。
専門部門による管理	運用部門と独立した各専門部門により、以下の管理を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・ファンドのパフォーマンスやポートフォリオ・リスク等の計測・分析は、各専門部門で行われ、これらの計測・分析の結果は運用部門に提供され、適宜、運用状況の確認ができる体制としています。 ・コンプライアンス部門では、投資ガイドラインおよび法令等の規定についての遵守状況をモニタリングし、必要に応じて運用部門に是正指示や是正状況の確認を行います。

上記「投資リスクに対する管理体制」における組織名称などは、委託会社の組織変更などにより変更となる場合があります。この場合においても、ファンドの基本的な投資リスク管理体制が変更されるものではありません。

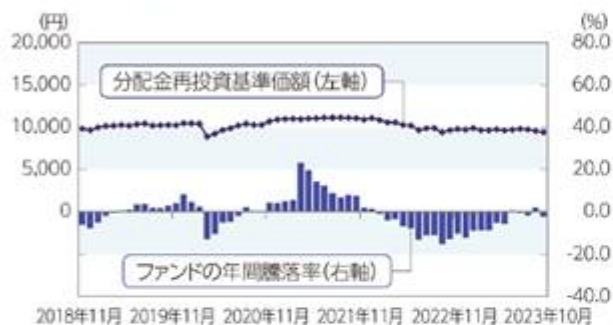
〈参考情報〉

■ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移

<為替ヘッジなし>



<為替ヘッジあり>



* 上記、各グラフのファンドに関するデータは、課税前の分配金を再投資したもののみならず計算した分配金再投資基準価額を用いています。実際の基準価額および基準価額に基づいて計算した騰落率とは異なる場合があります。

■ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

ファンド：2018年11月～2023年10月
代表的な資産クラス：2018年11月～2023年10月

<為替ヘッジなし>



<為替ヘッジあり>



* 「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」は、ファンドと他の代表的な資産クラスの値動きを定量的に比較できるように作成したものです。すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示しています。

代表的な資産クラスの指数について

日本株 TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIX（東証株価指数）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

先進国株 MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

新興国株 MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースのものを使用しています。

日本国債 NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

先進国債 FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

新興国債 JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社（「JPモルガン」）に帰属しております。JPモルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】＜投資者が直接的に負担する費用＞

購入時手数料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入時手数料¹は、購入口数、購入金額²または購入代金³などに応じて、購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める3.85%（税抜き3.50%）以内の手数料率を乗じて得た額とします。 ・ 購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として、販売会社にお支払いいただきます。 <p>詳しくは、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。</p> <p>1 購入時手数料には、購入時手数料にかかる消費税および地方消費税に相当する金額（以下「消費税等相当額」といいます。）がかかります。</p> <p>2 「購入金額」とは、「購入の申込受付日の翌営業日の基準価額×購入口数」により計算される金額をいいます。</p> <p>3 「購入代金」とは、「購入金額+購入時手数料(税込み)」により計算される金額をいいます。</p>
分配金の再投資にかかる手数料	「分配金再投資コース」において分配金を再投資する場合は、無手数料とします。

(2)【換金(解約)手数料】＜投資者が直接的に負担する費用＞

換金（解約）手数料	ファンドの換金（解約）にあたり、手数料はありません。
信託財産留保額	ありません。

* 「信託財産留保額」とは、換金（解約）する受益者と償還時まで投資を続ける受益者との間の公平性を確保するため、信託期間満了前に換金（解約）する受益者から徴収する一定の金額をいいます。差し引かれた信託財産留保額は、信託財産に留保されます。

(3) 【信託報酬等】 < 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 >

信託報酬の額	<p>日々の投資信託財産の純資産総額に年率0.913%（税抜き0.83%）を乗じて得た額とします。信託報酬は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。</p> <p>なお、投資対象となる投資信託証券においても信託報酬等が別途かかりますので、受益者が負担する実質的な信託報酬率は、投資信託財産の純資産総額に対して合計で年率1.663%（税込み）程度 となります。</p> <p>この値はあくまでも目安であり、実際の投資信託証券の投資比率によって、実質的な信託報酬率は変動します。</p> <p>（参考）投資対象となる投資信託証券の信託報酬率等</p> <table border="1" data-bbox="338 524 1396 987"> <thead> <tr> <th data-bbox="338 524 625 562">投資信託証券の名称</th> <th data-bbox="625 524 1396 562">信託報酬率等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="338 562 625 837">インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド</td> <td data-bbox="625 562 1396 837"> <p>信託報酬はありません。</p> <p>投資対象とする投資信託証券において次の費用がかかります。</p> <p>[インベスコ・サステナブル・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD投資信託証券（米ドル建て）]</p> <p>< 運用管理費用 ></p> <p>平均純資産総額の年率0.75%に相当する額</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 837 625 987">インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）</td> <td data-bbox="625 837 1396 987"> <p>< 信託報酬 ></p> <p>純資産総額に対して年率0.55%（税抜き0.50%）以内の率</p> <p>* 上記の信託報酬率等の他、監査費用や売買委託手数料等の各種費用がかかります。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	投資信託証券の名称	信託報酬率等	インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド	<p>信託報酬はありません。</p> <p>投資対象とする投資信託証券において次の費用がかかります。</p> <p>[インベスコ・サステナブル・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD投資信託証券（米ドル建て）]</p> <p>< 運用管理費用 ></p> <p>平均純資産総額の年率0.75%に相当する額</p>	インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）	<p>< 信託報酬 ></p> <p>純資産総額に対して年率0.55%（税抜き0.50%）以内の率</p> <p>* 上記の信託報酬率等の他、監査費用や売買委託手数料等の各種費用がかかります。</p>												
投資信託証券の名称	信託報酬率等																		
インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド	<p>信託報酬はありません。</p> <p>投資対象とする投資信託証券において次の費用がかかります。</p> <p>[インベスコ・サステナブル・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD投資信託証券（米ドル建て）]</p> <p>< 運用管理費用 ></p> <p>平均純資産総額の年率0.75%に相当する額</p>																		
インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）	<p>< 信託報酬 ></p> <p>純資産総額に対して年率0.55%（税抜き0.50%）以内の率</p> <p>* 上記の信託報酬率等の他、監査費用や売買委託手数料等の各種費用がかかります。</p>																		
信託報酬の配分	<p>信託報酬の配分は、以下の通り（税抜き）とします。</p> <table border="1" data-bbox="338 1061 1396 1144"> <thead> <tr> <th data-bbox="338 1061 549 1144">配分（年率）</th> <th data-bbox="549 1061 759 1144">委託会社</th> <th data-bbox="759 1061 970 1144">販売会社</th> <th data-bbox="970 1061 1181 1144">受託会社</th> <th data-bbox="1181 1061 1396 1144">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="338 1106 549 1144"></td> <td data-bbox="549 1106 759 1144">0.05%</td> <td data-bbox="759 1106 970 1144">0.75%</td> <td data-bbox="970 1106 1181 1144">0.03%</td> <td data-bbox="1181 1106 1396 1144">0.83%</td> </tr> </tbody> </table> <p>信託報酬の配分先および役務の内容は以下の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="338 1218 1396 1451"> <thead> <tr> <th data-bbox="338 1218 549 1256">配分先</th> <th data-bbox="549 1218 1396 1256">役務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="338 1256 549 1339">委託会社</td> <td data-bbox="549 1256 1396 1339">ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 1339 549 1422">販売会社</td> <td data-bbox="549 1339 1396 1422">購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 1422 549 1451">受託会社</td> <td data-bbox="549 1422 1396 1451">ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等</td> </tr> </tbody> </table>	配分（年率）	委託会社	販売会社	受託会社	合計		0.05%	0.75%	0.03%	0.83%	配分先	役務の内容	委託会社	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等	販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等	受託会社	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
配分（年率）	委託会社	販売会社	受託会社	合計															
	0.05%	0.75%	0.03%	0.83%															
配分先	役務の内容																		
委託会社	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等																		
販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等																		
受託会社	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等																		
支払方法	毎日計上し、毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支弁するものとします。																		

(4) 【その他の手数料等】 < 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 >

信託事務の諸経費

該当する費用	<ul style="list-style-type: none"> ・資産を外国で保管する場合の費用 ・借入金の利息、融資枠の設定に要する費用 ・受託会社の立て替えた立替金の利息 ・投資信託財産に関する租税 ・信託事務の処理等に要する諸費用
計算方法等	運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額または計算方法を記載できません。
支払方法	受益者の負担とし、投資信託財産中から実費を支弁します。

その他諸費用

該当する費用	<ul style="list-style-type: none"> ・監査費用（ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用） ・法律顧問および税務顧問への報酬 ・受益権の管理事務等に関連する費用 ・有価証券届出書、有価証券報告書および臨時報告書の作成および届出または提出にかかる費用 ・目論見書の作成、印刷および交付にかかる費用 ・ファンドの受益者に対してする公告にかかる費用、ならびに信託約款の変更または信託契約の解約にかかる事項を記載した書面の作成、印刷および交付にかかる費用 ・運用報告書の作成、印刷および交付にかかる費用 		
計算方法等	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">その他諸費用 上限固定率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">純資産総額に対して年率0.11%（税抜き0.10%）</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・委託会社は、その他諸費用の支払いを投資信託財産のために行い、支払金額の支払いを投資信託財産から受けることができます。 ・委託会社は、実際に支払う金額の支弁を受ける代わりに、その他諸費用の金額をあらかじめ合理的に見積もった結果として、投資信託財産の純資産総額の年率0.11%（税抜き0.10%）相当額を上限とし一定の率を定め、かかるその他諸費用の合計額とみなし、ファンドより受領することができます。 ・委託会社は、投資信託財産の規模等を考慮して、信託期間中に、上限、固定率または固定金額を合理的に計算された範囲内で変更することができます。 	その他諸費用 上限固定率	純資産総額に対して年率0.11%（税抜き0.10%）
その他諸費用 上限固定率			
純資産総額に対して年率0.11%（税抜き0.10%）			
支払方法	毎日計上し、毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産中から、消費税等相当額とともに、委託会社に支払われます。		

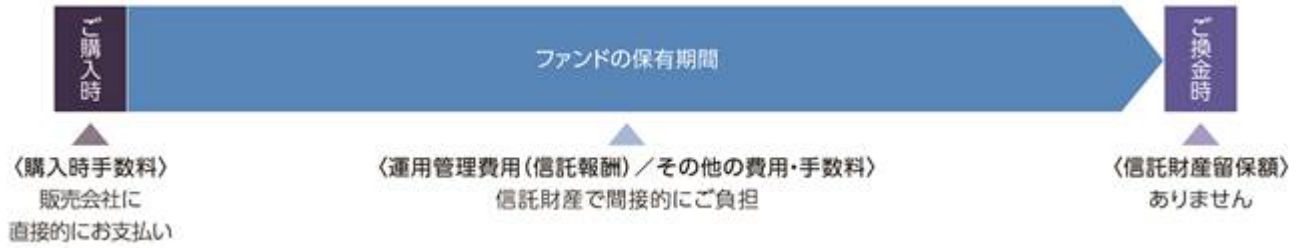
(参考) 投資対象となる投資信託証券のその他の費用

投資信託証券の名称	その他の費用
インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド	投資対象とする投資信託証券において、管理事務代行報酬（平均純資産総額の年率0.20%を超えない額）、監査費用、売買手数料、保管費用等の各種費用がかかります。

上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

（参考）

各費用をご負担いただく時期



<照会先>

上記、手数料等に関する詳細は、お申し込みの販売会社または以下の照会先へお問い合わせください。

照会先

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせダイヤル 03-6447-3100

受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

(5) 【課税上の取扱い】

ファンドは、課税上は株式投資信託として取り扱われます。日本の居住者（法人を含む。）である受益者に対する課税上の取扱いは、以下のとおりです。

個人の受益者に対する課税の取扱い

分配金に対する課税	<ul style="list-style-type: none"> 分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として、以下の税率による源泉徴収が行われます。 	
	2037年12月31日まで	20.315% (所得税15.315%および地方税5%)
	2038年1月1日以降	20% (所得税15%および地方税5%)
	<ul style="list-style-type: none"> 原則として確定申告は不要ですが、確定申告により総合課税（配当控除は適用されません。）または申告分離課税を選択することも可能です。 	
解約金および償還金に対する課税	<ul style="list-style-type: none"> 解約時および償還時の差益（譲渡益）については、譲渡所得として、以下の税率による申告分離課税が適用されます。 	
	2037年12月31日まで	20.315% (所得税15.315%および地方税5%)
	2038年1月1日以降	20% (所得税15%および地方税5%)
	<ul style="list-style-type: none"> 原則として確定申告が必要ですが、特定口座（源泉徴収あり）を利用した場合は、申告不要です。 	
損益通算について	<ul style="list-style-type: none"> 解約時および償還時の差損（譲渡損）については、確定申告により他の上場株式等の譲渡益、上場株式等の配当所得および特定公社債等の利子所得（申告分離課税を選択したものに限りま）と損益通算することができます。 解約時および償還時の差益（譲渡益）、普通分配金および特定公社債等の利子所得（申告分離課税を選択したものに限りま）については、他の上場株式等の譲渡損と損益通算することができます。 	
	<p>* 特定口座にかかる課税上の取扱いにつきましては、販売会社にお問い合わせください。</p>	

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」をご利用の場合

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。当ファンドは、NISAの対象ではありません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税の取り扱い

分配金、解約金および償還金に対する課税	<ul style="list-style-type: none"> 分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、以下の税率により所得税が源泉徴収されます。 	
	2037年12月31日まで	15.315%
	2038年1月1日以降	15%
	<ul style="list-style-type: none"> 源泉徴収された所得税は、所有期間に応じて法人税額より控除することができます。 	

個別元本について

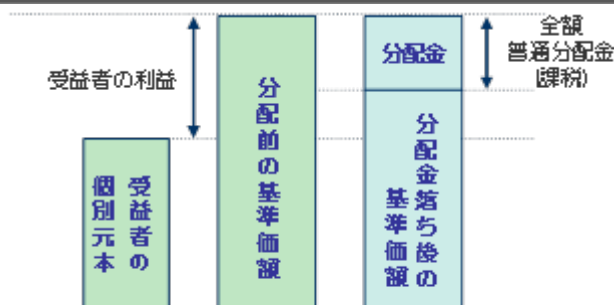
- 追加型株式投資信託について、受益者ごとの取得時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等相当額は含まれません。）が当該受益者の元本（以下「個別元本」といいます。）にあたります。
- 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、原則として個別元本は、当該受益者が追加取得を行う都度、当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

「元本払戻金（特別分配金）」については、下記「分配金の課税について」をご参照ください。

分配金の課税について

追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者ごとの元本の一部払い戻しに相当する部分）の区分があります。

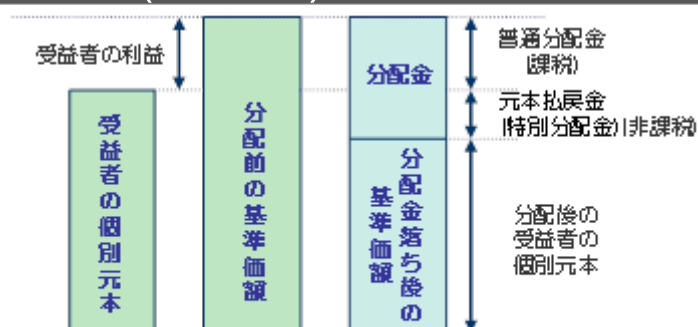
普通分配金



※上図は、イメージ図であり、個別元本、基準価額、分配金を示唆するものではありません。

分配金落ち後の基準価額が、受益者の個別元本と同額または上回っている場合、分配金の全額が普通分配金となります。

元本払戻金（特別分配金）



※上図は、イメージ図であり、個別元本、基準価額、分配金を示唆するものではありません。

分配金落ち後の基準価額が、受益者の個別元本を下回っている場合、その下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となり、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

上記は、2023年10月末現在の情報に基づくものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。その結果、上記の記載内容に変更が生じることがあります。

外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。税金の取り扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

(1)【投資状況】(2023年10月31日現在)

<為替ヘッジなし>

投資資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	54,315,664	99.95
投資信託受益証券	日本	49,635	0.09
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		22,980	0.04
合計(純資産総額)		54,342,319	100.00

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。以下同じです。

<為替ヘッジあり>

投資資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	14,208,474	100.63
投資信託受益証券	日本	49,635	0.35
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		138,960	0.98
合計(純資産総額)		14,119,149	100.00

(参考)インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド

投資資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資証券	ルクセンブルグ	67,452,442	98.43
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		1,070,304	1.56
合計(純資産総額)		68,522,746	100.00

(2)【投資資産】(2023年10月31日現在)

【投資有価証券の主要銘柄】

<為替ヘッジなし>

国/地域	種類	銘柄名	数量 (口数)	帳簿価額単価 帳簿価額金額 (円)	評価額単価 評価額金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託 受益証券	インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド	36,453,466	1.5029 54,789,548	1.4900 54,315,664	99.95
日本	投資信託 受益証券	インベスコ マネープール・ ファンド	50,000	0.9928 49,640	0.9927 49,635	0.09

種類別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.95
投資信託受益証券	0.09
合計	100.04

<為替ヘッジあり>

国/ 地域	種類	銘柄名	数量 (口数)	帳簿価額単価 帳簿価額金額 (円)	評価額単価 評価額金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託 受益証券	インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド	9,535,889	1.5029 14,332,440	1.4900 14,208,474	100.63
日本	投資信託 受益証券	インベスコ マネープール・ ファンド	50,000	0.9928 49,640	0.9927 49,635	0.35

種類別投資比率

種 類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.63
投資信託受益証券	0.35
合 計	100.98

(参考)インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド

国/ 地域	種類	銘柄名	数量 (口数)	帳簿価額単価 帳簿価額金額 (円)	評価額単価 評価額金額 (円)	投資 比率 (%)
ルクセン ブルグ	投資証券	インベスコ・サステ ナブル・グローバ ル・ハイ・インカ ム・ファンド	45,160.834	1,507.06 68,060,121	1,493.60 67,452,442	98.43

種類別投資比率

種 類	投資比率(%)
投資証券	98.43
合 計	98.43

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

<為替ヘッジなし>

	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第1特定期間末(2015年10月15日)	22	22	0.9452	0.9452
第2特定期間末(2016年4月15日)	20	21	0.8323	0.8423
第3特定期間末(2016年10月17日)	21	21	0.7826	0.7926
第4特定期間末(2017年4月17日)	23	23	0.7744	0.7844
第5特定期間末(2017年10月16日)	25	25	0.7644	0.7744
第6特定期間末(2018年4月16日)	23	24	0.6678	0.6778
第7特定期間末(2018年10月15日)	24	25	0.6479	0.6529
第8特定期間末(2019年4月15日)	24	24	0.6525	0.6555
第9特定期間末(2019年10月15日)	24	24	0.6204	0.6234
第10特定期間末(2020年4月15日)	22	22	0.5508	0.5538
第11特定期間末(2020年10月15日)	24	24	0.5848	0.5878
第12特定期間末(2021年4月15日)	26	26	0.6226	0.6256
第13特定期間末(2021年10月15日)	28	28	0.6348	0.6378
第14特定期間末(2022年4月15日)	31	31	0.6435	0.6465
第15特定期間末(2022年10月17日)	38	38	0.6699	0.6729
第16特定期間末(2023年4月17日)	36	36	0.6282	0.6312
第17特定期間末(2023年10月16日)	55	55	0.6762	0.6792
2022年10月末日	36	-	0.6845	-
2022年11月末日	35	-	0.6520	-
2022年12月末日	33	-	0.6200	-
2023年1月末日	33	-	0.6214	-
2023年2月末日	34	-	0.6315	-
2023年3月末日	35	-	0.6185	-
2023年4月末日	36	-	0.6263	-
2023年5月末日	39	-	0.6430	-
2023年6月末日	54	-	0.6708	-
2023年7月末日	55	-	0.6607	-
2023年8月末日	55	-	0.6778	-
2023年9月末日	55	-	0.6821	-
2023年10月末日	54	-	0.6696	-

< 為替ヘッジあり >

	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第1 特定期間末(2015年10月15日)	11	11	0.9521	0.9521
第2 特定期間末(2016年4月15日)	11	11	0.9240	0.9300
第3 特定期間末(2016年10月17日)	12	12	0.9390	0.9450
第4 特定期間末(2017年4月17日)	12	12	0.9181	0.9241
第5 特定期間末(2017年10月16日)	12	13	0.9046	0.9106
第6 特定期間末(2018年4月16日)	12	12	0.8514	0.8574
第7 特定期間末(2018年10月15日)	11	11	0.8068	0.8098
第8 特定期間末(2019年4月15日)	12	12	0.8078	0.8108
第9 特定期間末(2019年10月15日)	12	12	0.7871	0.7901
第10 特定期間末(2020年4月15日)	11	11	0.7042	0.7072
第11 特定期間末(2020年10月15日)	13	13	0.7638	0.7668
第12 特定期間末(2021年4月15日)	13	13	0.7893	0.7923
第13 特定期間末(2021年10月15日)	13	13	0.7747	0.7777
第14 特定期間末(2022年4月15日)	12	12	0.7116	0.7146
第15 特定期間末(2022年10月17日)	11	11	0.6273	0.6303
第16 特定期間末(2023年4月17日)	12	12	0.6358	0.6388
第17 特定期間末(2023年10月16日)	14	14	0.5988	0.6018
2022年10月末日	11	-	0.6426	-
2022年11月末日	11	-	0.6490	-
2022年12月末日	11	-	0.6415	-
2023年1月末日	12	-	0.6505	-
2023年2月末日	12	-	0.6318	-
2023年3月末日	12	-	0.6287	-
2023年4月末日	12	-	0.6318	-
2023年5月末日	12	-	0.6210	-
2023年6月末日	13	-	0.6230	-
2023年7月末日	14	-	0.6269	-
2023年8月末日	14	-	0.6185	-
2023年9月末日	14	-	0.6061	-
2023年10月末日	14	-	0.5919	-

【分配の推移】

<為替ヘッジなし>

	1口当たりの分配金 (円)
第1特定期間 (2015年5月1日～2015年10月15日)	0.0000
第2特定期間 (2015年10月16日～2016年4月15日)	0.0500
第3特定期間 (2016年4月16日～2016年10月17日)	0.0600
第4特定期間 (2016年10月18日～2017年4月17日)	0.0600
第5特定期間 (2017年4月18日～2017年10月16日)	0.0600
第6特定期間 (2017年10月17日～2018年4月16日)	0.0600
第7特定期間 (2018年4月17日～2018年10月15日)	0.0350
第8特定期間 (2018年10月16日～2019年4月15日)	0.0200
第9特定期間 (2019年4月16日～2019年10月15日)	0.0180
第10特定期間 (2019年10月16日～2020年4月15日)	0.0180
第11特定期間 (2020年4月16日～2020年10月15日)	0.0180
第12特定期間 (2020年10月16日～2021年4月15日)	0.0180
第13特定期間 (2021年4月16日～2021年10月15日)	0.0180
第14特定期間 (2021年10月16日～2022年4月15日)	0.0180
第15特定期間 (2022年4月16日～2022年10月17日)	0.0180
第16特定期間 (2022年10月18日～2023年4月17日)	0.0180
第17特定期間 (2023年4月18日～2023年10月16日)	0.0180

<為替ヘッジあり>

	1口当たりの分配金 (円)
第1特定期間 (2015年5月1日～2015年10月15日)	0.0000
第2特定期間 (2015年10月16日～2016年4月15日)	0.0300
第3特定期間 (2016年4月16日～2016年10月17日)	0.0360
第4特定期間 (2016年10月18日～2017年4月17日)	0.0360
第5特定期間 (2017年4月18日～2017年10月16日)	0.0360
第6特定期間 (2017年10月17日～2018年4月16日)	0.0360
第7特定期間 (2018年4月17日～2018年10月15日)	0.0210
第8特定期間 (2018年10月16日～2019年4月15日)	0.0180
第9特定期間 (2019年4月16日～2019年10月15日)	0.0180
第10特定期間 (2019年10月16日～2020年4月15日)	0.0180
第11特定期間 (2020年4月16日～2020年10月15日)	0.0180
第12特定期間 (2020年10月16日～2021年4月15日)	0.0180
第13特定期間 (2021年4月16日～2021年10月15日)	0.0180
第14特定期間 (2021年10月16日～2022年4月15日)	0.0180
第15特定期間 (2022年4月16日～2022年10月17日)	0.0180
第16特定期間 (2022年10月18日～2023年4月17日)	0.0180
第17特定期間 (2023年4月18日～2023年10月16日)	0.0180

【収益率の推移】

	収益率(%)	
	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
第1特定期間	5.48	4.79
第2特定期間	6.65	0.20
第3特定期間	1.24	5.52
第4特定期間	6.62	1.61
第5特定期間	6.46	2.45
第6特定期間	4.79	1.90
第7特定期間	2.26	2.77
第8特定期間	3.80	2.35
第9特定期間	2.16	0.33
第10特定期間	8.32	8.25
第11特定期間	9.44	11.02
第12特定期間	9.54	5.70
第13特定期間	4.85	0.43
第14特定期間	4.21	5.82
第15特定期間	6.90	9.32
第16特定期間	3.54	4.22
第17特定期間	10.51	2.99

(注1)収益率は、各特定期間末の基準価額（分配落の額）から前特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前特定期末基準価額」といいます。）を控除した額に特定期間中の分配金累計額を加算し、前特定期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。

(注2)第1特定期間については、前特定期末基準価額の代わりに当初設定元本（1口当たり1円）を使用しております。

(4)【設定及び解約の実績】

	為替ヘッジなし		為替ヘッジあり	
	設定数量(口)	解約数量(口)	設定数量(口)	解約数量(口)
第1特定期間	24,050,000	-	12,050,000	-
第2特定期間	1,131,120	-	374,104	-
第3特定期間	1,947,836	11,174	1,012,951	52,678
第4特定期間	2,672,616	23,011	467,438	-
第5特定期間	3,014,568	11,998	495,116	-
第6特定期間	2,964,104	19,877	563,718	527,210
第7特定期間	2,778,662	3,799	425,707	10,782
第8特定期間	1,429,079	2,148,836	337,579	1,416
第9特定期間	1,093,052	138,717	344,858	1,762
第10特定期間	1,331,997	26,457	1,465,882	1,040,871
第11特定期間	1,439,685	48,373	4,176,212	2,533,372
第12特定期間	29,982,104	28,951,307	5,169,309	5,370,361
第13特定期間	4,037,899	1,185,184	501,655	762,139
第14特定期間	3,677,870	543,503	407,251	138,302
第15特定期間	9,613,652	927,086	643,075	19,200
第16特定期間	9,762,564	9,249,966	2,279,018	5,737
第17特定期間	67,554,852	43,540,938	6,205,342	2,765,974

(注1) 設定数量には当初設定数量を含みます。

(注2) 本邦外における設定、解約の実績はありません。

(参考情報)交付目論見書に記載する運用実績

2023年10月31日現在

基準価額・純資産の推移

■ 基準価額・純資産総額の推移（設定来）

<為替ヘッジなし>



<為替ヘッジあり>



- * 基準価額、分配金再投資基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後のものです。
- * 分配金再投資基準価額は、課税前分配金を再投資したと仮定した数値を用いています。

■ 期間騰落率

	基準価額	純資産総額	期間	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来
為替ヘッジなし	6,696円	54百万円	為替ヘッジなし	-1.4%	2.7%	9.9%	3.4%	38.3%	37.3%	36.4%
為替ヘッジあり	5,919円	14百万円	為替ヘッジあり	-1.9%	-4.2%	-3.6%	-2.5%	-8.5%	-5.7%	-6.0%

* 期間騰落率は、分配金再投資基準価額の騰落率です。

分配の推移

(課税前/1万口当たり)

決算期	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	直近1年間累計	設定来累計
為替ヘッジなし	30円	30円	30円	30円	30円	360円	5,070円
為替ヘッジあり	30円	30円	30円	30円	30円	360円	3,750円

主要な資産の状況

■ 資産配分

	純資産比 (為替ヘッジなし)	純資産比 (為替ヘッジあり)
インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド	100.0%	100.6%
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.1%	0.4%
キャッシュ等	-0.0%	-1.0%

(参考) 投資先ファンドのポートフォリオの状況

【マザーファンドが投資対象とする「インベスコ・サステナブル・グローバル・ハイ・インカム・ファンド」の運用状況（現地月末基準）を記載しています。】

■ ポートフォリオ特性

平均最終利回り	8.6%
修正デュレーション	3.6年
平均格付	BB-

■ 種別配分

種別	純資産比
先進国社債	85.7%
新興国社債	6.2%
新興国国債	0.5%
その他	4.0%
キャッシュ等	3.6%

■ 組入上位5カ国

順位	国名	純資産比
1	アメリカ	75.2%
2	カナダ	4.6%
3	アイルランド	2.9%
4	イギリス	2.8%
5	フランス	2.6%

■ 組入上位10発行体

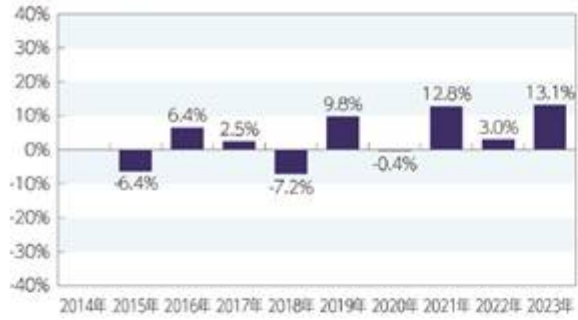
順位	発行体名	純資産比
1	CAMELOT FINANCE SA	2.1%
2	SERVICE PROPERTIES TRUST	2.1%
3	TRANSOCEAN INC	2.1%
4	CCO HOLDING LLC/CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	2.0%
5	LCM INVESTMENTS HOLDINGS II LLC	1.8%
6	FORD MOTOR CREDIT COMPANY LLC	1.7%
7	DIVERSIFIED HEALTHCARE TRUST	1.6%
8	CSC HOLDINGS LLC	1.5%
9	CARRIAGE SERVICES INC	1.5%
10	GENESIS ENERGY LP/ GENESIS ENERGY FINANCE CORP	1.4%

- * 各特性値は、加重平均しています。
- * 種別は当社の判断に基づき分類しています。
- * 国名は、発行体の国籍（所在国）等で区分しています。
- * 平均格付は、基準日時点で投資信託財産が保有している各有価証券の信用格付の加重平均であり、当ファンド自体の信用格付ではありません。信用格付は、S&P社、Moody's社、Fitch社の中で最上位を使用しております（表記はS&P社に準じています）。

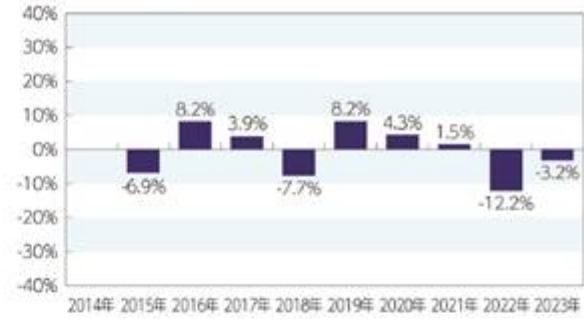
- ・ 運用実績は、過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 最新の運用状況は、委託会社のホームページでご覧いただけます。

年間収益率の推移

<為替ヘッジなし>



<為替ヘッジあり>



- * ファンドにはベンチマークはありません。
- * ファンドの年間収益率は、分配金再投資基準価額を基に算出しています。
- * 2015年はファンドの設定日（2015年5月1日）から年末まで、2023年は10月末までの騰落率を表示しています。

-
- ・運用実績は、過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
 - ・最新の運用状況は、委託会社のホームページでご覧いただけます。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

購入方法	販売会社において、販売会社所定の方法でお申し込みください。 「分配金再投資コース」をお申し込みいただく投資者は、積立投資契約（別の名称で同様の権利義務を規定する契約を含みません。）をお申し込みの販売会社との間で結んでいただきます。 なお、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
購入申込不可日	ニューヨークまたはルクセンブルグのいずれかの銀行休業日に該当する日には、購入のお申し込みの受け付けを行いません。
購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、分配金が税引後無手数料で再投資される「分配金再投資コース」と、分配金を受け取る「分配金受取りコース」の2コースがあります。 * 「分配金再投資コース」において分配金を再投資する場合は、1口単位とします。
購入申込締切時間	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として毎営業日の午後3時までに購入のお申し込みが行われ、かつ販売会社所定の事務手続きが完了したものを、当日の申込受付分とします。 ・当日の受付終了後のお申し込みは、翌営業日の申込受付分として取り扱います。 ・取引所などにおける取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託会社の判断により、受益権の購入申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 ただし、「分配金再投資コース」において分配金を再投資する場合の購入価額は、ファンドの各計算期間終了日の基準価額とします。
購入時手数料	購入口数、購入金額または購入代金などに応じて、購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める3.85%（税抜き3.50%）以内の手数料率を乗じて得た額とします。 詳しくは、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
購入代金の支払い	販売会社が定める期日までにお支払いください。 <ul style="list-style-type: none"> ・「分配金再投資コース」 販売会社の定める購入単位に従った投資者ご指定の金額を、購入代金としてお申し込みの販売会社にお支払いいただきます。 なお、購入時手数料は購入代金から差し引かれます。 ・「分配金受取りコース」 購入金額に購入時手数料を加算した金額を、購入代金としてお申し込みの販売会社にお支払いいただきます。

購入の申し込みにかかる受益権の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・購入のお申し込みを行う投資者は、販売会社に、購入申し込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設されたファンドの受益権の振り替えを行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。 ・販売会社は、当該購入申し込みの代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該購入申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。 ・委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため、社債、株式等の振替に関する法律(以下「社振法」といいます。)に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定に従い、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。 ・受託会社は、追加信託により生じた受益権については、追加信託の都度、振替機関の定める方法により振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行います。
---------------------	--

2【換金(解約)手続等】

換金方法	販売会社において、販売会社所定の方法でお申し込みください。
換金申込不可日	ニューヨークまたはルクセンブルグのいずれかの銀行休業日に該当する日には、換金のお申し込みの受け付けを行いません。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金申込締切時間	原則として、毎営業日の午後3時までには換金のお申し込みが行われ、かつ販売会社所定の事務手続きが完了したものを、当日の申込受付分とします。 当日の受付終了後のお申し込みは、翌営業日の申込受付分として取り扱います。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
換金代金の支払い	原則として、換金の申込受付日から起算して6営業日目から、販売会社でお支払いいたします。
換金の申し込み受け付けの中止等	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。 ・取引所などにおける取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託会社の判断により、換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。 ・換金のお申し込みの受け付けが中止された場合には、受益者は当該受け付け中止以前に行った当日の換金のお申し込みを撤回できます。ただし、受益者がその換金のお申し込みを撤回しない場合には、当該受益権の換金価額は、当該受け付け中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に換金のお申し込みを受け付けたものとして、上記「換金価額」に準じて計算された価額とします。

換金にかかる受益権の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・換金のお申し込みを行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の換金のお申し込みにかかるファンドの信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定に従い当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われず。 ・受益者が換金のお申し込みを行うときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。
償還金の支払い	<p>原則として、信託終了日から起算して5営業日目までに、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者 に対し、販売会社でお支払いを開始いたします。</p> <p>償還日以前において、一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で、購入代金支払い前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については、原則として、購入申込者としません。</p>

< 照会先 >

上記、購入価額および換金価額に関する詳細は、以下の照会先へお問い合わせください。

照会先

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせダイヤル 03-6447-3100

受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

<p>基準価額の算定</p>	<p>基準価額とは、ファンドの投資信託財産に属する資産を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権口数で除した金額をいいます。</p> <p>基準価額の算定にあたり、投資信託財産に属する外貨建資産の円換算は、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。</p> <p>また、予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算します。</p> <div data-bbox="528 622 1353 1066" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>基準価額の計算方法</p> <p>ファンドの純資産総額 = ファンドの資産総額 - ファンドの負債総額</p> <p>ファンドの基準価額 = ファンドの純資産総額 ÷ ファンドの受益権口数</p> </div>						
<p>基準価額の算出頻度と公表</p>	<p>基準価額は委託会社の営業日に日々算出され、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に〈為替ヘッジなし〉は「高利回り無」、〈為替ヘッジあり〉は「高利回り有」の銘柄名で掲載されるほか、以下に照会することにより知ることができます。</p> <p>なお、基準価額は便宜上1万口あたりに換算した価額で表示されることがあります。</p> <p style="text-align: center;">基準価額の照会先</p> <div data-bbox="528 1384 1353 1608" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; background-color: #f0f0f0;"> <p>インベスコ・アセット・マネジメント株式会社</p> <p>お問い合わせダイヤル 03-6447-3100</p> <p>受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで</p> <p>ホームページ https://www.invesco.com/jp/ja/</p> </div>						
<p>主な投資資産の評価方法</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">投資資産</th> <th style="text-align: center;">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親投資信託 受益証券</td> <td>親投資信託受益証券の基準価額で評価します。</td> </tr> <tr> <td>投資信託証券</td> <td>投資信託証券の基準価額で評価します。</td> </tr> </tbody> </table>	投資資産	評価方法	親投資信託 受益証券	親投資信託受益証券の基準価額で評価します。	投資信託証券	投資信託証券の基準価額で評価します。
投資資産	評価方法						
親投資信託 受益証券	親投資信託受益証券の基準価額で評価します。						
投資信託証券	投資信託証券の基準価額で評価します。						

(2) 【保管】

受益証券の保管	原則として受益証券は発行されないため、受益証券の保管に関する事項はありません。 * ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります。
---------	---

(3) 【信託期間】

ファンドの信託期間	2015年5月1日から2025年4月15日までとします。 なお、信託契約の一部解約により、各ファンドの受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。
-----------	--

(4) 【計算期間】

ファンドの計算期間	ファンドの計算期間は、原則として毎月16日から翌月15日までとします。 なお、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。
-----------	--

(5) 【その他】

繰上償還	<ul style="list-style-type: none"> 委託会社は、信託契約の一部解約により、各ファンドの受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合、信託期間中においてファンドの信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、ファンドの信託契約を解約し、信託を終了させることができます。 委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。 信託契約の解約は、以下の手続きで行います。 <div data-bbox="507 1281 1385 1706" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">書面決議による繰上償還の流れ</p> <p style="font-size: small;">* 知れている受益者が議決権を行使しないときは、書面決議について賛成するものとみなします。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> * 上記の手続きは、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、ファンドの信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。 * 上記の手続きは、投資信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記の手続きを行うことが困難な場合には適用しません。 * 委託会社は、監督官庁よりファンドの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令に従い、信託契約を解約し信託を終了させます。
------	--

信託約款の変更等	<ul style="list-style-type: none"> 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは受託会社と合意のうえ、ファンドの信託約款を変更することまたはファンドと他のファンドとの併合を行うことができます。 投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じです。 委託会社は、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、ファンドの信託約款は当「信託約款の変更等」に定める以外の方法によって変更することができないものとします。 その内容が重大なものおよび併合（以下「重大な信託約款の変更等」といいます。）は、以下の手続きで行います。 <div data-bbox="497 555 1390 999" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">重大な信託約款の変更等の流れ</p> <pre> graph LR A[書面決議の日 の2週間前までに、 知れている受益者に対し、 書面決議の通知等の書面を送信] --> B[書面決議] B -- "議決権を行使できる 受益者の議決権の3分の2以上で 成立した場合" --> C([約款変更実施]) B -- "否決された場合" --> D[約款変更不成立] </pre> <p><small>* 知れている受益者が議決権を行使しないときは、書面決議について賛成するものとみなします。 * 書面決議の効力は、ファンドのすべての受益者に対してその効力を生じます。</small></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> * 上記の手続きは、委託会社が重大な信託約款の変更等について提案をした場合において、ファンドの信託約款にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。 * ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合にあっても、当該併合にかかる一または複数の他のファンドにおいて当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行うことはできません。 * 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてファンドの信託約款を変更しようとするときは、上記の手続きに従います。
反対受益者の受益権買取請求の不適用	<p>当ファンドは、前記「繰上償還」に規定する信託約款の解約、または「信託約款の変更等」に規定する重大な信託約款の変更等を行う場合、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権の買取請求の規定の適用を受けません。</p>
関係会社との契約の更新等に関する手続きについて	<p>委託会社と販売会社との間で締結される「受益権の募集・販売等に関する契約」は、期間満了前に、委託会社、販売会社いずれからも別段の意思表示のないときは、自動的に1年間延長されます。自動延長後の取り扱いも同様です。</p>
運用報告書	<ul style="list-style-type: none"> 委託会社は、年2回（4月と10月の決算時）および償還時に交付運用報告書（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第4項に定める運用報告書）を作成し、販売会社を通じて、知れている受益者に対して交付します。 委託会社は、運用報告書（全体版）（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書）を作成し、委託会社のホームページに掲載します。 上記にかかわらず、受益者から運用報告書（全体版）の交付の請求があった場合には、これを交付します。
公告	<p>受益者に対する公告は、日本経済新聞に掲載します。</p>

4 【受益者の権利等】

分配金に対する請求権	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受益者は、委託会社の決定した分配金を、持ち分に応じて請求する権利を有します。 ・ 分配金は、毎計算期間終了日後 1 カ月以内の委託会社の指定する日から、毎計算期間の末日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者に支払います。 ・ 「分配金再投資コース」に基づいて分配金を再投資する受益者に対しては、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に、分配金が販売会社に交付されます。販売会社は、受益者に対し遅滞なく分配金の再投資にかかる受益権の取得申し込みに応じます。 ・ 受益者が、分配金の支払開始日から 5 年間支払いを請求しないときはその権利を失い、その金額は、委託会社に帰属するものとします。
償還金に対する請求権	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受益者は、持ち分に応じて償還金を請求する権利を有します。 ・ 償還金は、信託終了日後 1 カ月以内の委託会社の指定する日から、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者に支払います。 ・ 受益者が、償還金の支払開始日から 10 年間支払いを請求しないときはその権利を失い、その金額は、委託会社に帰属するものとします。
受益権の換金（解約）請求権	受益者は、受益権の換金（解約）を請求することができます。
受益権均等分割	受益者は、自己に帰属する受益権の口数に応じて、均等にファンドの受益権を保有します。
帳簿閲覧権	受益者は、委託会社に対し、その営業時間内にファンドの投資信託財産に関する帳簿書類の閲覧・謄写を請求することができます。

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドの計算期間は6カ月未満であるため、財務諸表は6カ月毎に作成しております。
- (3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間(2023年4月18日から2023年10月16日まで)の財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

【インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）】

(1)【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 (2023年4月17日現在)	当期 (2023年10月16日現在)
資産の部		
流動資産		
投資信託受益証券	49,665	49,640
親投資信託受益証券	36,363,735	55,461,129
未収入金	111	10
流動資産合計	36,413,511	55,510,779
資産合計	36,413,511	55,510,779
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	172,912	244,954
未払解約金	115	4,084
未払受託者報酬	1,047	1,600
未払委託者報酬	27,961	42,629
その他未払費用	3,474	5,313
流動負債合計	205,509	298,580
負債合計	205,509	298,580
純資産の部		
元本等		
元本	57,637,520	81,651,434
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	21,429,518	26,439,235
（分配準備積立金）	16,165,050	11,240,338
元本等合計	36,208,002	55,212,199
純資産合計	36,208,002	55,212,199
負債純資産合計	36,413,511	55,510,779

(2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期 自 2022年10月18日 至 2023年 4月17日	当期 自 2023年 4月18日 至 2023年10月16日
営業収益		
有価証券売買等損益	942,516	5,438,592
営業収益合計	942,516	5,438,592
営業費用		
受託者報酬	5,722	8,405
委託者報酬	152,618	224,080
その他費用	18,955	27,901
営業費用合計	177,295	260,386
営業利益又は営業損失（ ）	1,119,811	5,178,206
経常利益又は経常損失（ ）	1,119,811	5,178,206
当期純利益又は当期純損失（ ）	1,119,811	5,178,206
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	109,551	293,212
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	18,858,244	21,429,518
剰余金増加額又は欠損金減少額	3,104,026	14,806,799
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	3,104,026	14,806,799
剰余金減少額又は欠損金増加額	3,452,654	23,229,416
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	3,452,654	23,229,416
分配金	993,284	1,472,094
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	21,429,518	26,439,235

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	(1)投資信託受益証券 移動平均法に基づき、投資信託受益証券の基準価額で評価しております。 (2)親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	特定期間末日の取扱い 2023年4月15日及び16日並びに2023年10月15日が休日のため、信託約款第30条第2項により、当特定期間開始日を2023年4月18日、当特定期間末日を2023年10月16日としております。このため、当特定期間は182日となっております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

前期 自 2022年10月18日 至 2023年4月17日	当期 自 2023年4月18日 至 2023年10月16日
当特定期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌特定期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

前期 (2023年4月17日現在)	当期 (2023年10月16日現在)
1. 期首元本額 57,124,922円 期中追加設定元本額 9,762,564円 期中解約元本額 9,249,966円	1. 期首元本額 57,637,520円 期中追加設定元本額 67,554,852円 期中解約元本額 43,540,938円
2. 特定期間末日における受益権の総数 57,637,520口	2. 特定期間末日における受益権の総数 81,651,434口
3. 元本の欠損 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は21,429,518円であります。	3. 元本の欠損 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は26,439,235円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 2022年10月18日 至 2023年 4月17日	当期 自 2023年 4月18日 至 2023年10月16日
<p>分配金の計算過程 (2022年10月18日から2022年11月15日までの計算期間)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(25,314,134円)及び分配準備積立金(15,512,017円)より分配対象収益は40,826,151円(1万口当たり7,567.49円)であり、うち161,848円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p> <p>(2022年11月16日から2022年12月15日までの計算期間)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(25,378,505円)及び分配準備積立金(15,488,334円)より分配対象収益は40,866,839円(1万口当たり7,537.49円)であり、うち162,654円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p> <p>(2022年12月16日から2023年 1月16日までの計算期間)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(25,182,330円)及び分配準備積立金(15,232,579円)より分配対象収益は40,414,909円(1万口当たり7,507.49円)であり、うち161,498円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p>	<p>分配金の計算過程 (2023年 4月18日から2023年 5月15日までの計算期間)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(20円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(28,818,040円)及び分配準備積立金(16,160,048円)より分配対象収益は44,978,108円(1万口当たり7,582.19円)であり、うち177,961円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p> <p>(2023年 5月16日から2023年 6月15日までの計算期間)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(19円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(54,036,513円)及び分配準備積立金(15,820,999円)より分配対象収益は69,857,531円(1万口当たり7,552.19円)であり、うち277,498円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p> <p>(2023年 6月16日から2023年 7月18日までの計算期間)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(50,764,151円)及び分配準備積立金(11,524,967円)より分配対象収益は62,289,118円(1万口当たり7,522.22円)であり、うち248,420円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p>

(2023年1月17日から2023年2月15日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(184円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(25,529,136円)及び分配準備積立金(15,214,584円)より分配対象収益は40,743,904円(1万口当たり7,477.51円)であり、うち163,465円(1万口当たり30円)を分配金額としております。

(2023年2月16日から2023年3月15日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(1,068,562円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(27,254,384円)及び分配準備積立金(15,214,023円)より分配対象収益は43,536,969円(1万口当たり7,642.16円)であり、うち170,907円(1万口当たり30円)を分配金額としております。

(2023年3月16日から2023年4月17日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(126円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(27,709,828円)及び分配準備積立金(16,164,924円)より分配対象収益は43,874,878円(1万口当たり7,612.20円)であり、うち172,912円(1万口当たり30円)を分配金額としております。

(2023年7月19日から2023年8月15日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(1,230円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(51,514,121円)及び分配準備積立金(11,060,685円)より分配対象収益は62,576,036円(1万口当たり7,492.34円)であり、うち250,559円(1万口当たり30円)を分配金額としております。

(2023年8月16日から2023年9月15日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(2,503,486円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(57,349,040円)及び分配準備積立金(10,737,912円)より分配対象収益は70,590,438円(1万口当たり7,765.63円)であり、うち272,702円(1万口当たり30円)を分配金額としております。

(2023年9月16日から2023年10月16日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(51,677,175円)及び分配準備積立金(11,485,292円)より分配対象収益は63,162,467円(1万口当たり7,735.61円)であり、うち244,954円(1万口当たり30円)を分配金額としております。

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針	証券投資信託として、有価証券等の金融商品に対する投資を、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い行っております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を主要投資対象としております。</p> <p>投資する投資信託受益証券は、インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）、親投資信託受益証券は、インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンドです。</p> <p>投資信託受益証券は、債券の価格変動リスク、信用リスク等にさらされております。</p> <p>親投資信託受益証券は、債券の価格変動リスク、デリバティブの価格変動リスク、信用リスク、カントリー・リスク、為替変動リスク、流動性リスク等にさらされております。</p> <p>また、親投資信託受益証券は、為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、外国通貨の取得又は売却取引について円貨額を確定することに限定しているため、親投資信託受益証券に対して重大な影響をおよぼすものではありません。また、親投資信託受益証券が利用している為替予約取引の相手方は社内ルールに従った金融機関に限定しているため、相手方の契約不履行に係る信用リスクはほとんどないと認識しております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>取締役会で定めたりスク管理の基本方針、及びリスク管理規程に従い、包括的なリスク管理を「リスク管理委員会」（以下「RMC」といいます。）で行います。RMCは、社内各部署から報告された各種リスクを検討、協議し、具体的なリスク管理方針を策定します。</p> <p>RMCでは、分会として「運用リスク管理委員会」（以下「IRMC」といいます。）を開催し、運用リスクの管理を行います。IRMCは、運用リスクを把握し、運用の適切性・妥当性を検証、審議して、その結果をRMCへ報告します。</p>

金融商品の時価等に関する事項

項目	前期 (2023年4月17日現在)	当期 (2023年10月16日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 該当事項はありません。</p>	<p>(1) 有価証券 同左</p> <p>(2) デリバティブ取引 同左</p>

3. 金融商品の時価等に関する事項の補足事項	(3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	(3)上記以外の金融商品 同左 同左
------------------------	--	------------------------------

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	前期 (2023年4月17日現在)	当期 (2023年10月16日現在)
	最終計算期間の損益に含まれた評価差額(円)	最終計算期間の損益に含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	-	5
親投資信託受益証券	924,687	147,487
合 計	924,687	147,492

(デリバティブ取引等に関する注記)

前期 (2023年4月17日現在)	当期 (2023年10月16日現在)
該当事項はありません。	同左

(関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 2022年10月18日 至 2023年4月17日	当期 自 2023年4月18日 至 2023年10月16日
該当事項はありません。	同左

(1口当たり情報に関する注記)

前期 (2023年4月17日現在)	当期 (2023年10月16日現在)
1口当たり純資産額 0.6282円 (1万口当たり純資産額 6,282円)	1口当たり純資産額 0.6762円 (1万口当たり純資産額 6,762円)

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表

株式

該当事項はありません。

株式以外の有価証券

(投資信託受益証券)

(2023年10月16日現在)

種類	銘柄	口数	評価額(円)	備考
投資信託 受益証券	インベスコ マネープール・ ファンド（適格機関投資家私募 投信）	50,000	49,640	
	合計	50,000	49,640	

(親投資信託受益証券)

(2023年10月16日現在)

種類	銘柄	券面総額	評価額(円)	備考
親投資信託 受益証券	インベスコ 世界高利回り債 券 マザーファンド	36,875,751	55,461,129	
	合計	36,875,751	55,461,129	

(注) 親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジあり>（毎月決算型）】

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	前期 (2023年4月17日現在)	当期 (2023年10月16日現在)
資産の部		
流動資産		
投資信託受益証券	49,665	49,640
親投資信託受益証券	13,021,817	14,327,877
派生商品評価勘定	979	-
未収入金	8	374
流動資産合計	13,072,469	14,377,891
資産合計	13,072,469	14,377,891
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	125,047	107,870
未払収益分配金	60,750	71,068
未払解約金	13	378
未払受託者報酬	370	402
未払委託者報酬	9,764	10,706
その他未払費用	1,200	1,317
流動負債合計	197,144	191,741
負債合計	197,144	191,741
純資産の部		
元本等		
元本	20,250,043	23,689,411
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	7,374,718	9,503,261
（分配準備積立金）	9,467,495	8,773,996
元本等合計	12,875,325	14,186,150
純資産合計	12,875,325	14,186,150
負債純資産合計	13,072,469	14,377,891

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期 自 2022年10月18日 至 2023年 4月17日	当期 自 2023年 4月18日 至 2023年10月16日
営業収益		
有価証券売買等損益	291,007	1,451,849
為替差損益	833,247	1,828,321
営業収益合計	542,240	376,472
営業費用		
受託者報酬	1,984	2,255
委託者報酬	52,695	59,993
その他費用	6,478	7,387
営業費用合計	61,157	69,635
営業利益又は営業損失（ ）	481,083	446,107
経常利益又は経常損失（ ）	481,083	446,107
当期純利益又は当期純損失（ ）	481,083	446,107
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	53	9,291
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	6,699,417	7,374,718
剰余金増加額又は欠損金減少額	2,022	1,034,907
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	2,022	1,034,907
剰余金減少額又は欠損金増加額	818,198	2,321,885
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	818,198	2,321,885
分配金	340,261	404,749
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	7,374,718	9,503,261

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	(1)投資信託受益証券 移動平均法に基づき、投資信託受益証券の基準価額で評価しております。 (2)親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 為替予約の評価は、原則として、当ファンドの特定期間末日におけるわが国の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	特定期間末日の取扱い 2023年4月15日及び16日並びに2023年10月15日が休日のため、信託約款第30条第2項により、当特定期間開始日を2023年4月18日、当特定期間末日を2023年10月16日としております。このため、当特定期間は182日となっております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

前期 自 2022年10月18日 至 2023年4月17日	当期 自 2023年4月18日 至 2023年10月16日
当特定期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌特定期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

前期 (2023年4月17日現在)	当期 (2023年10月16日現在)
1. 期首元本額 17,976,762円 期中追加設定元本額 2,279,018円 期中解約元本額 5,737円	1. 期首元本額 20,250,043円 期中追加設定元本額 6,205,342円 期中解約元本額 2,765,974円
2. 特定期間末日における受益権の総数 20,250,043口	2. 特定期間末日における受益権の総数 23,689,411口
3. 元本の欠損 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は7,374,718円であり ます。	3. 元本の欠損 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は9,503,261円であり ます。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

<p style="text-align: center;">前期 自 2022年10月18日 至 2023年 4月17日</p>	<p style="text-align: center;">当期 自 2023年 4月18日 至 2023年10月16日</p>
<p>分配金の計算過程 (2022年10月18日から2022年11月15日までの計算期間) 計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(23円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(7,706,062円)及び分配準備積立金(9,114,035円)より分配対象収益は16,820,120円(1万口当たり9,311.54円)であり、うち54,191円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p>	<p>分配金の計算過程 (2023年 4月18日から2023年 5月15日までの計算期間) 計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(11,028,970円)及び分配準備積立金(9,467,441円)より分配対象収益は20,496,411円(1万口当たり9,317.28円)であり、うち65,994円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p>
<p>(2022年11月16日から2022年12月15日までの計算期間) 計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(7,975,770円)及び分配準備積立金(9,113,482円)より分配対象収益は17,089,252円(1万口当たり9,281.55円)であり、うち55,236円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p>	<p>(2023年 5月16日から2023年 6月15日までの計算期間) 計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(10,515,601円)及び分配準備積立金(8,471,960円)より分配対象収益は18,987,561円(1万口当たり9,287.24円)であり、うち61,334円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p>
<p>(2022年12月16日から2023年 1月16日までの計算期間) 計算期間末における配当等収益から費用を控除した額(0円)、有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(8,001,420円)及び分配準備積立金(9,113,414円)より分配対象収益は17,114,834円(1万口当たり9,251.56円)であり、うち55,498円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p>	<p>(2023年 6月16日から2023年 7月18日までの計算期間) 計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(423円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(11,602,008円)及び分配準備積立金(8,466,891円)より分配対象収益は20,069,322円(1万口当たり9,257.44円)であり、うち65,037円(1万口当たり30円)を分配金額としております。</p>

(2023年1月17日から2023年2月15日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(8,446,138円)及び分配準備積立金(9,111,967円)より分配対象収益は17,558,105円(1万口当たり9,221.56円)であり、うち57,120円(1万口当たり30円)を分配金額としております。

(2023年2月16日から2023年3月15日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(355,621円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(8,495,259円)及び分配準備積立金(9,111,900円)より分配対象収益は17,962,780円(1万口当たり9,377.29円)であり、うち57,466円(1万口当たり30円)を分配金額としております。

(2023年3月16日から2023年4月17日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(46円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(9,460,846円)及び分配準備積立金(9,467,449円)より分配対象収益は18,928,341円(1万口当たり9,347.30円)であり、うち60,750円(1万口当たり30円)を分配金額としております。

(2023年7月19日から2023年8月15日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(13,172,891円)及び分配準備積立金(8,464,352円)より分配対象収益は21,637,243円(1万口当たり9,227.46円)であり、うち70,346円(1万口当たり30円)を分配金額としております。

(2023年8月16日から2023年9月15日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(587,194円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(13,366,029円)及び分配準備積立金(8,396,034円)より分配対象収益は22,349,257円(1万口当たり9,447.23円)であり、うち70,970円(1万口当たり30円)を分配金額としております。

(2023年9月16日から2023年10月16日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(13,463,842円)及び分配準備積立金(8,845,064円)より分配対象収益は22,308,906円(1万口当たり9,417.24円)であり、うち71,068円(1万口当たり30円)を分配金額としております。

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針	証券投資信託として、有価証券等の金融商品に対する投資を、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い行っております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を主要投資対象としております。</p> <p>投資する投資信託受益証券は、インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）、親投資信託受益証券は、インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンドです。</p> <p>また、当ファンドは、為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動により価値の変動が生ずることもありますが、取引の利用目的を為替ヘッジ目的、円貨確定目的に限定しているため当ファンドに対して重大な影響をおよぼすものではありません。また、当ファンドが利用している為替予約取引の相手方は社内ルールに従った金融機関に限定しているため、相手方の契約不履行に係る信用リスクはほとんどないと認識しております。</p> <p>投資信託受益証券は、債券の価格変動リスク、信用リスク等にさらされております。</p> <p>親投資信託受益証券は、債券の価格変動リスク、デリバティブの価格変動リスク、信用リスク、カントリー・リスク、為替変動リスク、流動性リスク等にさらされております。</p> <p>また、親投資信託受益証券は、為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、外国通貨の取得又は売却取引について円貨額を確定することに限定しているため、親投資信託受益証券に対して重大な影響をおよぼすものではありません。また、親投資信託受益証券が利用している為替予約取引の相手方は社内ルールに従った金融機関に限定しているため、相手方の契約不履行に係る信用リスクはほとんどないと認識しております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>取締役会で定めたりスク管理の基本方針、及びリスク管理規程に従い、包括的なリスク管理を「リスク管理委員会」（以下「RMC」といいます。）で行います。RMCは、社内各部署から報告された各種リスクを検討、協議し、具体的なリスク管理方針を策定します。</p> <p>RMCでは、分会として「運用リスク管理委員会」（以下「IRMC」といいます。）を開催し、運用リスクの管理を行います。IRMCは、運用リスクを把握し、運用の適切性・妥当性を検証、審議して、その結果をRMCへ報告します。</p>

金融商品の時価等に関する事項

項目	前期 (2023年4月17日現在)	当期 (2023年10月16日現在)
1.貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2.時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」に記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
3.金融商品の時価等に関する事項の補足事項	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	前期 (2023年4月17日現在)	当期 (2023年10月16日現在)
	最終計算期間の損益に含まれた評価差額(円)	最終計算期間の損益に含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	-	5
親投資信託受益証券	323,837	33,342
合計	323,837	33,347

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

前期(2023年4月17日現在)

種 類	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引以外の取引 為替予約取引 売 建 アメリカドル	12,221,334	-	12,345,402	124,068
合 計	12,221,334	-	12,345,402	124,068

当期(2023年10月16日現在)

種 類	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引以外の取引 為替予約取引 売 建 アメリカドル	13,768,109	-	13,875,979	107,870
合 計	13,768,109	-	13,875,979	107,870

(注)時価の算定方法

為替予約の時価

(1)当特定期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

同特定期間末日において為替予約の受渡日(以下「当該日」という。)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該対顧客先物相場の仲値により評価しております。

同特定期間末日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は以下の方法によっております。

イ)同特定期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。

ロ)同特定期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値により評価しております。

(2)同特定期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、同特定期間末日の対顧客電信売買相場の仲値により評価しております。

(3)上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

(関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 2022年10月18日 至 2023年4月17日	当期 自 2023年4月18日 至 2023年10月16日
該当事項はありません。	同左

(1口当たり情報に関する注記)

前期 (2023年4月17日現在)	当期 (2023年10月16日現在)
1口当たり純資産額 0.6358円 (1万口当たり純資産額 6,358円)	1口当たり純資産額 0.5988円 (1万口当たり純資産額 5,988円)

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表

株式

該当事項はありません。

株式以外の有価証券

(投資信託受益証券)

(2023年10月16日現在)

種類	銘柄	口数	評価額(円)	備考
投資信託 受益証券	インベスコ マネープール・ ファンド(適格機関投資家私募 投信)	50,000	49,640	
	合計	50,000	49,640	

(親投資信託受益証券)

(2023年10月16日現在)

種類	銘柄	券面総額	評価額(円)	備考
親投資信託 受益証券	インベスコ 世界高利回り債 券 マザーファンド	9,526,514	14,327,877	
	合計	9,526,514	14,327,877	

(注)親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引等に関する注記)」に記載しております。

参考情報

当ファンドは、「インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド」受益証券及び「インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、「インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）」、「親投資信託受益証券」は、すべて「インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド」の受益証券です。同ファンドの状況は次の通りです。

「インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査対象外であります。

貸借対照表

(単位：円)

区 分	注記 番号	(2023年4月17日現在)	(2023年10月16日現在)
		金 額	金 額
資産の部			
流動資産			
預金		943	6,991
コール・ローン		2,460,456	1,679,677
投資証券		46,926,321	68,101,091
流動資産合計		49,387,720	69,787,759
資産合計		49,387,720	69,787,759
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		2,046	-
未払解約金		119	384
未払利息		6	4
その他未払費用		8	18
流動負債合計		2,179	406
負債合計		2,179	406
純資産の部			
元本等			
元本		36,538,586	46,402,265
剰余金			
剰余金又は欠損金()		12,846,955	23,385,088
元本等合計		49,385,541	69,787,353
純資産合計		49,385,541	69,787,353
負債純資産合計		49,387,720	69,787,759

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資証券の基準価額、外国金融商品市場(金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第2条第8項第3号口に規定するものをいいます。)における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引 為替予約の評価は、原則として、わが国における対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

(重要な会計上の見積りに関する注記)

自 2022年10月18日 至 2023年 4月17日	自 2023年 4月18日 至 2023年10月16日
本書における開示対象ファンドの当特定期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌特定期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

(2023年4月17日現在)	
1. 本書における開示対象ファンドの期首における 当該親投資信託の元本額	35,900,937円
同期中における追加設定元本額	6,745,005円
同期中における解約元本額	6,107,356円
同特定期間末日における元本の内訳	
(保有ファンド名)	(金額)
インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	26,904,214円
インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	9,634,372円
合計	36,538,586円
2. 本書における開示対象ファンドの特定期間末日における 当該親投資信託の受益権の総数	36,538,586口

(2023年10月16日現在)	
1. 本書における開示対象ファンドの期首における 当該親投資信託の元本額	36,538,586円
同期中における追加設定元本額	33,856,341円
同期中における解約元本額	23,992,662円
同特定期間末日における元本の内訳	
(保有ファンド名)	(金額)
インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	36,875,751円
インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	9,526,514円
合計	46,402,265円
2. 本書における開示対象ファンドの特定期間末日における 当該親投資信託の受益権の総数	46,402,265口

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針	証券投資信託として、有価証券等の金融商品に対する投資を、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い行っております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>当ファンドは、投資証券を主要投資対象としております。</p> <p>投資する主な投資証券は、インベスコ・サステナブル・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD投資信託証券（米ドル建て）です。</p> <p>また、当ファンドは、為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、外国通貨の取得又は売却取引について円貨額を確定することに限定しているため、当ファンドに対して重大な影響をおよぼすものではありません。また、当ファンドが利用している為替予約取引の相手方は社内ルールに従った金融機関に限定しているため、相手方の契約不履行に係る信用リスクはほとんどないと認識しております。</p> <p>投資証券は、債券の価格変動リスク、デリバティブの価格変動リスク、信用リスク、カントリー・リスク、為替変動リスク、流動性リスク等にさらされております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	当ファンドに投資する証券投資信託の「(金融商品に関する注記)」に記載しております。

金融商品の時価等に関する事項

項目	(2023年4月17日現在)	(2023年10月16日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	貸借対照表計上額は本書における開示対象ファンドの特定期間末日の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」に記載しております。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。</p>	<p>(1) 有価証券 同左</p> <p>(2) デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足事項	当ファンドに投資する証券投資信託の「(金融商品に関する注記)」に記載しております。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	(2023年4月17日現在)	(2023年10月16日現在)
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
投資証券	1,805,322	2,905,106
合 計	1,805,322	2,905,106

(注)当計算期間の損益に含まれた評価差額は、当親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの特定期間末日までの期間に対応する金額であります。

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

(2023年4月17日現在)

種 類	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引以外の取引 為替予約取引 買 建 アメリカドル	1,206,702	-	1,204,656	2,046
合 計	1,206,702	-	1,204,656	2,046

(注)時価の算定方法

為替予約の時価

(1)本書における開示対象ファンドの特定期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

同特定期間末日において為替予約の受渡日(以下「当該日」という。)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該対顧客先物相場の仲値により評価しております。

同特定期間末日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は以下の方法によっております。

イ)同特定期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。

ロ)同特定期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値により評価しております。

(2)同特定期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、同特定期間末日の対顧客電信売買相場の仲値により評価しております。

(3)上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認められた価額で評価しております。

(2023年10月16日現在)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

自 2022年10月18日 至 2023年4月17日	自 2023年4月18日 至 2023年10月16日
-------------------------------	-------------------------------

該当事項はありません。	同左
-------------	----

(1口当たり情報に関する注記)

(2023年4月17日現在)	(2023年10月16日現在)
1口当たり純資産額 1.3516円 (1万口当たり純資産額 13,516円)	1口当たり純資産額 1.5040円 (1万口当たり純資産額 15,040円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

株式

該当事項はありません。

株式以外の有価証券(投資証券)

(2023年10月16日現在)

種類	通貨	銘柄	口数	評価額		備考
				単価	金額	
投資証券	アメリカドル	インベスコ・サステナブル・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD投資信託証券(米ドル建て)	45,160	10.08	455,221.20	
		アメリカドル小計	45,160		455,221.20 (68,101,091)	
	合計				68,101,091 (68,101,091)	

(注)1.小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

2.合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書きであります。

3.通貨の表示は、邦貨については円単位、外貨についてはその通貨の表記単位で表示しております。

4.外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資証券 時価比率	合計金額に対する比率
アメリカドル	投資証券 1銘柄	100.00%	100.00%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンドは、「インベスコ・サステナブル・グローバル・ハイ・インカム・ファンド」投資証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資証券」は、同ファンドの投資証券です。

なお、以下に記載した情報は当ファンドの監査の対象外であります。

「インベスコ・サステナブル・グローバル・ハイ・インカム・ファンド」投資証券の状況

「インベスコ・サステナブル・グローバル・ハイ・インカム・ファンド」投資証券は、ルクセンブルグ籍外国投資法人が発行するクラスC-SD投資信託証券（米ドル建て）です。同投資信託は、現地の法律に基づいて財務諸表が作成され、公認会計士により財務書類の監査を受けております。

以下に掲載している2023年2月28日現在の純資産額計算書、損益計算書及び純資産額変動計算書及び投資有価証券明細表は、現地FINANCIAL STATEMENTSから抜粋しております。

(1)純資産額計算書

（2023年2月28日現在）

（単位：米ドル）

資産	
投資有価証券、時価	172,517,303
流動資産	
ブローカーに対する債権	953,654
受益証券発行未収金	33,732
その他の未収金	2,423,349
銀行預金	245,110
差入委託証拠金	1,205,797
為替先物予約に係る未実現利益	121,614
先物契約に係る未実現利益	44,078
クレジット・デフォルト・スワップに係る未実現利益	201,979
益	
資産合計	177,746,616
流動負債	
当座借越	474,844
ブローカーに対する債務	461,367
受益証券買戻未払金	119,811
その他の未払金	118,412
為替先物予約に係る未実現損失	308,601
クレジット・デフォルト・スワップに係る未実現損失	133,214
失	
負債合計	1,616,249
純資産額	176,130,367

(2)損益計算書及び純資産額変動計算書

(2023年2月28日に終了した年度)

(単位：米ドル)

収益	
受取配当金	48,476
受取利息（債券）	10,626,503
マーケットディスカウントの増価 / （マーケットプレミアムの償却）	2,576,259
預金利息	2,596
スワップに係る純受取利息	57,452
証券貸付利息	5,022
その他収益	545
	<u>13,316,853</u>
費用	
運用及び投資顧問会社報酬	1,752,672
サービス代行報酬	267,134
保管報酬	6,219
税金	93,290
事務代行費用	80,767
スワップに係る純支払利息	6,440
その他運営費用	790
その他支払利息	225
	<u>2,207,537</u>
当期投資純利益 / （損失）	<u>11,109,316</u>
支払及び未払分配金	(9,913,135)
受益証券発行 / （買戻）による純収益 / （支払）金	(33,452,678)
投資有価証券、デリバティブ及び外国通貨の処分に係る 実現純利益 / （損失）	(13,563,158)
為替先物予約に係る未実現評価益 / 損の純変動額	175,630
先物契約に係る未実現評価益 / 損の純変動額	38,328
クレジット・デフォルト・スワップに係る未実現評価 益 / 損の純変動額	68,765
投資有価証券に係る未実現評価益 / 損の純変動額	(13,754,990)
外国通貨及びその他取引に係る未実現評価益 / 損の純変 動額	23,193
期首純資産額	<u>235,399,096</u>
期末純資産額	<u>176,130,367</u>

(3)投資有価証券明細表

(2023年2月28日現在)

銘柄	額面 / 株数	時価 (米ドル)	純資産に占める割合(%)
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券			
株式			
イギリス			
Noble Corp Plc	1,942	80,797	0.04
株式合計		80,797	0.04
債券			
バミューダ			
Nabors Industries Ltd 144A 7.25% USD 15/01/2026	48,000	45,538	0.03
Nabors Industries Ltd 144A 7.5% USD 15/01/2028	906,000	843,644	0.48
NCL Corp Ltd 144A 5.875% USD 15/02/2027	984,000	919,696	0.52
Valaris Ltd 144A 8.25% USD 30/04/2028	1,172,000	1,196,829	0.68
Valaris Ltd 8.25% USD 30/04/2028	673,000	687,257	0.39
VOC Escrow Ltd 144A 5% USD 15/02/2028	1,030,000	907,129	0.51
Weatherford International Ltd 144A 8.625% USD 30/04/2030	1,587,000	1,578,002	0.90
		6,178,095	3.51
カナダ			
1011778 BC ULC / New Red Finance Inc 144A 3.875% USD 15/01/2028	2,230,000	1,992,851	1.13
Bausch Health Cos Inc 144A 4.875% USD 01/06/2028	1,434,000	890,370	0.51
Enerflex Ltd 144A 9% USD 15/10/2027	1,395,000	1,368,321	0.78
GFL Environmental Inc 144A 4.25% USD 01/06/2025	2,133,000	2,035,960	1.16
Hudbay Minerals Inc 144A 6.125% USD 01/04/2029	1,671,000	1,470,087	0.83
New Gold Inc 144A 7.5% USD 15/07/2027	979,000	843,811	0.48
Parkland Corp 144A 4.5% USD 01/10/2029	1,074,000	900,640	0.51
Ritchie Bros Auctioneers Inc 144A 5.375% USD 15/01/2025	2,832,000	2,808,195	1.59
		12,310,235	6.99
ケイマン諸島			
Alibaba Group Holding Ltd 2.125% USD 09/02/2031	1,000,000	797,607	0.45
Meituan 2.125% USD 28/10/2025	1,000,000	899,096	0.51
Transocean Inc 144A 7.5% USD 15/01/2026	982,000	900,823	0.51
Transocean Inc 7.5% USD 15/04/2031	1,312,000	1,024,934	0.58
Transocean Inc 144A 8.75% USD 15/02/2030	418,000	424,665	0.24
Transocean Titan Financing Ltd 144A 8.375% USD 01/02/2028	357,000	362,602	0.21
Weibo Corp 3.375% USD 08/07/2030	1,000,000	801,531	0.46
		5,211,258	2.96
フランス			
Altice France SA/France 144A 5.125% USD 15/07/2029	678,000	526,457	0.30

Altice France SA/France 144A 8.125% USD 01/02/2027	1,736,000	1,624,722	0.92
		2,151,179	1.22
ドイツ			
Nidda Healthcare Holding GmbH 7.5% EUR 21/08/2026	1,075,000	1,118,791	0.63
リベリア			
Royal Caribbean Cruises Ltd 144A 4.25% USD 01/07/2026	181,000	158,375	0.09
ルクセンブルグ			
Altice France Holding SA 144A 10.5% USD 15/05/2027	614,000	503,811	0.29
B2W Digital Lux Sarl 144A 4.375% USD 20/12/2030	2,200,000	372,558	0.21
Camelot Finance SA 144A 4.5% USD 01/11/2026	3,018,000	2,780,242	1.58
		3,656,611	2.08
メキシコ			
Braskem Idesa SAPI 144A 6.99% USD 20/02/2032	2,496,000	1,805,744	1.02
Grupo Axo SAPI de CV 144A 5.75% USD 08/06/2026	1,050,000	914,932	0.52
		2,720,676	1.54
多国籍			
American Airlines Inc/AAdvantage Loyalty IP Ltd 144A 5.5% USD 20/04/2026	2,327,000	2,270,800	1.29
Clarios Global LP / Clarios US Finance Co 144A 8.5% USD 15/05/2027	1,730,000	1,727,824	0.98
Delta Air Lines Inc / SkyMiles IP Ltd 144A 4.5% USD 20/10/2025	1,772,003	1,722,920	0.98
		5,721,544	3.25
オランダ			
Prosus NV 3.257% USD 19/01/2027	1,000,000	891,761	0.51
Sensata Technologies BV 144A 4% USD 15/04/2029	1,431,000	1,273,261	0.72
Sensata Technologies BV 144A 5% USD 01/10/2025	388,000	378,151	0.21
VZ Secured Financing BV 144A 5% USD 15/01/2032	1,161,000	961,290	0.55
		3,504,463	1.99
パナマ			
Carnival Corp 144A 4% USD 01/08/2028	1,007,000	855,044	0.49
イギリス			
Bellis Acquisition Co Plc 3.25% GBP 16/02/2026	982,000	986,314	0.56
Gatwick Airport Finance Plc 4.375% GBP 07/04/2026	925,000	1,030,124	0.59
MARB BondCo Plc 3.95% USD 29/01/2031	1,250,000	903,125	0.51
Virgin Media Finance Plc 144A 5% USD 15/07/2030	215,000	175,304	0.10
Virgin Media Secured Finance Plc 144A 5.5% USD 15/05/2029	1,775,000	1,591,103	0.90
Vodafone Group Plc FRN 4.125% USD 04/06/2081	2,320,000	1,822,221	1.03
		6,508,191	3.69
アメリカ			
Alliant Holdings Intermediate LLC / Alliant Holdings Co-Issuer 144A 6.75% USD 15/04/2028	568,000	555,927	0.32

American Builders & Contractors Supply Co Inc 144A 4% USD 15/01/2028	2,506,000	2,241,679	1.27
Asbury Automotive Group Inc 4.5% USD 01/03/2028	1,227,000	1,102,429	0.63
Asbury Automotive Group Inc 144A 4.625% USD 15/11/2029	733,000	631,316	0.36
Carnival Holdings Bermuda Ltd 144A 10.375% USD 01/05/2028	912,000	976,387	0.55
Carriage Services Inc 144A 4.25% USD 15/05/2029	2,890,000	2,336,724	1.33
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp 144A 4.25% USD 15/01/2034	509,000	382,547	0.22
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp 144A 4.5% USD 15/08/2030	833,000	688,470	0.39
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp 144A 4.75% USD 01/03/2030	912,000	770,838	0.44
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp 144A 5% USD 01/02/2028	472,000	427,073	0.24
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp 144A 5.125% USD 01/05/2027	448,000	415,856	0.24
CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp 144A 5.5% USD 01/05/2026	831,000	803,353	0.46
CHS/Community Health Systems Inc 144A 4.75% USD 15/02/2031	527,000	409,800	0.23
CHS/Community Health Systems Inc 144A 5.25% USD 15/05/2030	788,000	635,424	0.36
CHS/Community Health Systems Inc 144A 6.875% USD 15/04/2029	106,000	74,862	0.04
CHS/Community Health Systems Inc 144A 8% USD 15/03/2026	438,000	425,745	0.24
CHS/Community Health Systems Inc 144A 8% USD 15/12/2027	312,000	304,573	0.17
Clarivate Science Holdings Corp 144A 4.875% USD 01/07/2029	1,768,000	1,526,960	0.87
Clear Channel Outdoor Holdings Inc 144A 5.125% USD 15/08/2027	471,000	419,875	0.24
Clearway Energy Operating LLC 144A 3.75% USD 15/02/2031	603,000	490,574	0.28
Clearway Energy Operating LLC 144A 4.75% USD 15/03/2028	592,000	544,690	0.31
Cogent Communications Group Inc 144A 7% USD 15/06/2027	989,000	958,023	0.54
Crestwood Midstream Partners LP / Crestwood Midstream Finance Corp 144A 8% USD 01/04/2029	2,721,000	2,699,341	1.53
Crowdstrike Holdings Inc 3% USD 15/02/2029	1,127,000	947,068	0.54
CSC Holdings LLC 144A 4.5% USD 15/11/2031	222,000	158,972	0.09
CSC Holdings LLC 144A 4.625% USD 01/12/2030	213,000	114,324	0.06
CSC Holdings LLC 144A 5% USD 15/11/2031	319,000	170,904	0.10
CSC Holdings LLC 144A 5.75% USD 15/01/2030	996,000	574,568	0.33

CSC Holdings LLC 144A 6.5% USD 01/02/2029	868,000	732,071	0.42
CTR Partnership LP / CareTrust Capital Corp 144A 3.875% USD 30/06/2028	1,132,000	966,049	0.55
DaVita Inc 144A 3.75% USD 15/02/2031	659,000	498,408	0.28
Delek Logistics Partners LP / Delek Logistics Finance Corp 144A 7.125% USD 01/06/2028	1,986,000	1,779,943	1.01
Diversified Healthcare Trust 4.375% USD 01/03/2031	1,847,000	1,264,697	0.72
Diversified Healthcare Trust 4.75% USD 01/05/2024	1,257,000	1,117,856	0.63
Dun & Bradstreet Corp/The 144A 5% USD 15/12/2029	1,197,000	991,906	0.56
Embarq Corp 7.995% USD 01/06/2036	1,436,000	618,772	0.35
EnerSys 144A 4.375% USD 15/12/2027	2,401,000	2,200,589	1.25
EnPro Industries Inc 5.75% USD 15/10/2026	1,591,000	1,522,285	0.86
Entegris Escrow Corp 144A 4.75% USD 15/04/2029	980,000	891,165	0.51
EQM Midstream Partners LP 4% USD 01/08/2024	305,000	292,307	0.17
EQM Midstream Partners LP 144A 4.75% USD 15/01/2031	271,000	220,886	0.13
EQM Midstream Partners LP 5.5% USD 15/07/2028	414,000	368,996	0.21
EQM Midstream Partners LP 6.5% USD 15/07/2048	553,000	409,336	0.23
EQM Midstream Partners LP 144A 7.5% USD 01/06/2027	312,000	302,916	0.17
FirstCash Inc 144A 5.625% USD 01/01/2030	1,052,000	930,585	0.53
Ford Motor Co 7.45% USD 16/07/2031	211,000	219,030	0.12
Ford Motor Credit Co LLC 4% USD 13/11/2030	1,670,000	1,396,412	0.79
Ford Motor Credit Co LLC 4.389% USD 08/01/2026	913,000	857,935	0.49
Ford Motor Credit Co LLC 4.95% USD 28/05/2027	775,000	722,319	0.41
Ford Motor Credit Co LLC 5.113% USD 03/05/2029	321,000	294,213	0.17
Fortress Transportation and Infrastructure Investors LLC 144A 5.5% USD 01/05/2028	2,755,000	2,454,912	1.39
Fortress Transportation and Infrastructure Investors LLC 144A 6.5% USD 01/10/2025	662,000	642,964	0.37
Gap Inc/The 144A 3.625% USD 01/10/2029	1,206,000	893,592	0.51
Gartner Inc 144A 3.625% USD 15/06/2029	1,035,000	886,929	0.50
Gartner Inc 144A 3.75% USD 01/10/2030	239,000	202,519	0.11
Gartner Inc 144A 4.5% USD 01/07/2028	817,000	750,837	0.43
Genesis Energy LP / Genesis Energy Finance Corp 6.25% USD 15/05/2026	1,277,000	1,205,316	0.68
Genesis Energy LP / Genesis Energy Finance Corp 8% USD 15/01/2027	374,000	361,502	0.21
Global Partners LP / GLP Finance Corp 7% USD 01/08/2027	1,044,000	993,591	0.56

Gray Escrow II Inc 144A 5.375% USD 15/11/2031	1,225,000	903,496	0.51
Group 1 Automotive Inc 144A 4% USD 15/08/2028	3,135,000	2,682,997	1.52
Hilcorp Energy I LP / Hilcorp Finance Co 144A 6% USD 15/04/2030	156,000	140,670	0.08
Hilcorp Energy I LP / Hilcorp Finance Co 144A 6.25% USD 01/11/2028	477,000	443,896	0.25
Hilcorp Energy I LP / Hilcorp Finance Co 144A 6.25% USD 15/04/2032	822,000	737,847	0.42
Howard Midstream Energy Partners LLC 144A 6.75% USD 15/01/2027	1,717,000	1,634,523	0.93
Jane Street Group / JSG Finance Inc 144A 4.5% USD 15/11/2029	1,130,000	990,724	0.56
Jefferies Finance LLC / JFIN Co- Issuer Corp 144A 5% USD 15/08/2028	1,162,000	981,562	0.56
Lamar Media Corp 3.625% USD 15/01/2031	230,000	188,680	0.11
Lamar Media Corp 4% USD 15/02/2030	3,144,000	2,690,580	1.53
LCM Investments Holdings II LLC 144A 4.875% USD 01/05/2029	3,265,000	2,657,586	1.51
Level 3 Financing Inc 144A 3.75% USD 15/07/2029	1,545,000	994,223	0.56
Level 3 Financing Inc 144A 4.625% USD 15/09/2027	958,000	719,784	0.41
Lithia Motors Inc 144A 3.875% USD 01/06/2029	2,078,000	1,741,686	0.99
Lumen Technologies Inc 7.6% USD 15/09/2039	1,039,000	515,546	0.29
Macy's Retail Holdings LLC 4.3% USD 15/02/2043	307,000	189,089	0.11
Macy's Retail Holdings LLC 4.5% USD 15/12/2034	813,000	589,534	0.33
Macy's Retail Holdings LLC 144A 5.875% USD 01/04/2029	665,000	605,915	0.34
Macy's Retail Holdings LLC 144A 5.875% USD 15/03/2030	498,000	440,115	0.25
Martin Midstream Partners LP / Martin Midstream Finance Corp 144A 11.5% USD 15/02/2028	904,000	889,092	0.50
Medline Borrower LP 144A 3.875% USD 01/04/2029	1,123,000	944,477	0.54
MercadoLibre Inc 3.125% USD 14/01/2031	1,000,000	765,840	0.43
MPT Operating Partnership LP / MPT Finance Corp 3.5% USD 15/03/2031	1,852,000	1,275,509	0.72
Nabors Industries Inc 144A 7.375% USD 15/05/2027	93,000	89,525	0.05
NCR Corp 144A 5.75% USD 01/09/2027	969,000	942,347	0.54
NESCO Holdings II Inc 144A 5.5% USD 15/04/2029	1,601,000	1,435,000	0.81
NGL Energy Partners LP / NGL Energy Finance Corp 6.125% USD 01/03/2025	183,000	169,084	0.10
NGL Energy Partners LP / NGL Energy Finance Corp 7.5% USD 15/04/2026	307,000	276,071	0.16
Novelis Corp 144A 3.25% USD 15/11/2026	1,020,000	897,567	0.51
NRG Energy Inc 144A 4.45% USD 15/06/2029	970,000	863,391	0.49
OneMain Finance Corp 3.875% USD 15/09/2028	336,000	268,338	0.15

OneMain Finance Corp 5.375% USD 15/11/2029	751,000	627,950	0.36
OneMain Finance Corp 7.125% USD 15/03/2026	586,000	570,823	0.32
Papa John's International Inc 144A 3.875% USD 15/09/2029	3,309,000	2,802,470	1.59
PetSmart Inc / PetSmart Finance Corp 144A 4.75% USD 15/02/2028	1,457,000	1,326,096	0.75
Prestige Brands Inc 144A 3.75% USD 01/04/2031	2,206,000	1,793,213	1.02
Rockies Express Pipeline LLC 144A 4.95% USD 15/07/2029	445,000	385,476	0.22
Rockies Express Pipeline LLC 144A 6.875% USD 15/04/2040	1,264,000	1,036,262	0.59
SBA Communications Corp 3.875% USD 15/02/2027	1,951,000	1,772,041	1.01
Select Medical Corp 144A 6.25% USD 15/08/2026	1,122,000	1,071,117	0.61
Sensata Technologies Inc 144A 4.375% USD 15/02/2030	295,000	261,365	0.15
Service Properties Trust 4.375% USD 15/02/2030	822,000	633,762	0.36
Service Properties Trust 4.95% USD 01/10/2029	570,000	449,325	0.26
Service Properties Trust 5.5% USD 15/12/2027	2,148,000	1,929,357	1.10
Sirius XM Radio Inc 144A 3.125% USD 01/09/2026	1,519,000	1,340,283	0.76
Sonic Automotive Inc 144A 4.625% USD 15/11/2029	2,721,000	2,254,770	1.28
SS&C Technologies Inc 144A 5.5% USD 30/09/2027	945,000	894,880	0.51
Summit Midstream Holdings LLC / Summit Midstream Finance Corp 5.75% USD 15/04/2025	402,000	345,193	0.20
Summit Midstream Holdings LLC / Summit Midstream Finance Corp 144A 8.5% USD 15/10/2026	472,000	448,884	0.25
SunCoke Energy Inc 144A 4.875% USD 30/06/2029	2,381,000	2,007,062	1.14
Syneos Health Inc 144A 3.625% USD 15/01/2029	556,000	473,167	0.27
Tallgrass Energy Partners LP / Tallgrass Energy Finance Corp 144A 6% USD 01/03/2027	1,745,000	1,616,220	0.92
Tenet Healthcare Corp 4.875% USD 01/01/2026	2,126,000	2,027,138	1.15
Twilio Inc 3.625% USD 15/03/2029	1,665,000	1,397,175	0.79
United Natural Foods Inc 144A 6.75% USD 15/10/2028	1,514,000	1,435,022	0.81
USA Compression Partners LP / USA Compression Finance Corp 6.875% USD 01/09/2027	238,000	224,948	0.13
WMG Acquisition Corp 144A 3.75% USD 01/12/2029	1,043,000	887,332	0.50
		107,455,165	61.01
債券合計		157,549,627	89.45
公的な証券取引所に上場を認められている または他の規制市場で取引されている譲渡 性のある有価証券合計		157,630,424	89.49
その他の譲渡性のある有価証券			

債券			
カナダ			
Northwest Acquisitions ULC / Dominion Finco Inc 144A 7.125% USD 01/11/2022*	262,000	16	0.00
ルクセンブルグ			
Mossi & Ghisolfi Finance Luxembourg SA FRN 0% EUR 09/03/2171*	1,450,000	30,762	0.02
アメリカ			
Singapore Telecom Escrow 0% USD Perpetual*	130,000	-	0.00
債券合計		30,778	0.02
ワラント			
アメリカ			
CEC Brands LLC WTS 31/12/2025*	2,266	-	0.00
ワラント合計		-	0.00
その他の譲渡性のある有価証券合計		30,778	0.02
オープンエンド型投資信託			
アイルランド			
Invesco Liquidity Funds plc - Invesco US Dollar Liquidity Portfolio	6,352,726	6,352,726	3.61
ルクセンブルグ			
Invesco Funds SICAV - Invesco Sustainable Multi-Sector Credit Fund	2,352,022	8,503,375	4.83
オープンエンド型投資信託合計		14,856,101	8.44
投資有価証券合計		172,517,303	97.95

* 取締役が定めた手続きに従って誠実に決定された公正市場価値で評価された有価証券です。

** 2022年4月29日付で、インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンドは、インベスコ・サステナブル・グローバル・ハイ・インカム・ファンドに名称変更しています。

利率は、2023年2月28日現在のものです。

「インベスコ マネープール・ファンド(適格機関投資家私募投信)」受益証券の状況

「インベスコ マネープール・ファンド(適格機関投資家私募投信)」は、第8期計算期間(2021年11月23日から2022年11月21日まで)の財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人による監査を受けております。

なお、以下に記載した情報は当ファンドの監査の対象外であります。

(1)貸借対照表

(単位：円)

	第7期 (2021年11月22日現在)	第8期 (2022年11月21日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	2,314,958	2,312,764
流動資産合計	2,314,958	2,312,764
資産合計	2,314,958	2,312,764
負債の部		
流動負債		
未払利息	6	6
流動負債合計	6	6
負債合計	6	6
純資産の部		
元本等		
元本	2,327,554	2,327,554
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損 金()	12,602	14,796
(分配準備積立金)	48	48
元本等合計	2,314,952	2,312,758
純資産合計	2,314,952	2,312,758
負債純資産合計	2,314,958	2,312,764

(2) 損益及び剰余金計算書

(単位：円)

	第7期	第8期
	自 2020年11月21日 至 2021年11月22日	自 2021年11月23日 至 2022年11月21日
営業収益		
営業収益合計	-	-
営業費用		
支払利息	2,210	2,194
営業費用合計	2,210	2,194
営業利益又は営業損失()	2,210	2,194
経常利益又は経常損失()	2,210	2,194
当期純利益又は当期純損失()	2,210	2,194
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()	42	-
期首剰余金又は期首欠損金()	10,658	12,602
剰余金増加額又は欠損金減少額	224	-
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	224	-
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金()	12,602	14,796

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>計算期間末日の取扱い</p> <p>2021年11月20日及び21日並びに2022年11月20日が休日のため、信託約款第34条第2項により、当計算期間開始日を2021年11月23日、当計算期間末日を2022年11月21日としております。このため、当計算期間は364日となっております。</p>
----------------------	---

(重要な会計上の見積りに関する注記)

第7期 自 2020年11月21日 至 2021年11月22日	第8期 自 2021年11月23日 至 2022年11月21日
当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

第7期 (2021年11月22日現在)	第8期 (2022年11月21日現在)
1. 期首元本額 2,377,565円 期中追加設定元本額 - 円 期中解約元本額 50,011円	1. 期首元本額 2,327,554円 期中追加設定元本額 - 円 期中解約元本額 - 円
2. 計算期間末日における受益権の総数 2,327,554口	2. 計算期間末日における受益権の総数 2,327,554口
3. 元本の欠損 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は12,602円であります。	3. 元本の欠損 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は14,796円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第7期 自 2020年11月21日 至 2021年11月22日	第8期 自 2021年11月23日 至 2022年11月21日
<p>分配金の計算過程</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(45円)及び分配準備積立金(48円)より分配対象収益は93円(1万口当たり0.39円)ですが、分配を行っておりません。</p>	<p>分配金の計算過程</p> <p>計算期間末における配当等収益から費用を控除した額(0円)、有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(45円)及び分配準備積立金(48円)より分配対象収益は93円(1万口当たり0.39円)ですが、分配を行っておりません。</p>

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針	証券投資信託として、有価証券等の金融商品に対する投資を、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い行っております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>当ファンドは、円貨建ての短期公社債及び短期金融商品を主要投資対象としております。</p> <p>円貨建ての短期公社債及び短期金融商品は、債券の価格変動リスク、信用リスク等にさらされています。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>取締役会で定めたりスク管理の基本方針、及びリスク管理規程に従い、包括的なリスク管理を「リスク管理委員会」(以下「RMC」といいます。)で行います。RMCは、社内各部署から報告された各種リスクを検討、協議し、具体的なリスク管理方針を策定します。</p> <p>RMCでは、分会として「運用リスク管理委員会」(以下「IRMC」といいます。)を開催し、運用リスクの管理を行います。IRMCは、運用リスクを把握し、運用の適切性・妥当性を検証、審議して、その結果をRMCへ報告します。</p>

金融商品の時価等に関する事項

項目	第7期 (2021年11月22日現在)	第8期 (2022年11月21日現在)
1.貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2.時価の算定方法	(1)有価証券 該当事項はありません。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
3.金融商品の時価等に関する事項の補足事項	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

第7期 (2021年11月22日現在)	第8期 (2022年11月21日現在)
該当事項はありません。	同左

(デリバティブ取引等に関する注記)

第7期 (2021年11月22日現在)	第8期 (2022年11月21日現在)
該当事項はありません。	同左

(関連当事者との取引に関する注記)

第7期 自 2020年11月21日 至 2021年11月22日	第8期 自 2021年11月23日 至 2022年11月21日
該当事項はありません。	同左

(1口当たり情報に関する注記)

第7期 (2021年11月22日現在)	第8期 (2022年11月21日現在)
1口当たり純資産額 0.9946円 (1万口当たり純資産額 9,946円)	1口当たり純資産額 0.9936円 (1万口当たり純資産額 9,936円)

(4)附属明細表

第1 有価証券明細表

株式

該当事項はありません。

株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】(2023年10月31日現在)

<為替ヘッジなし>

資産総額	54,469,087 円
負債総額	126,768 円
純資産総額(-)	54,342,319 円
発行済数量	81,156,177 口
1単位当たり純資産額(/)	0.6696 円

<為替ヘッジあり>

資産総額	27,706,504 円
負債総額	13,587,355 円
純資産総額(-)	14,119,149 円
発行済数量	23,852,376 口
1単位当たり純資産額(/)	0.5919 円

(参考) インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド

資産総額	68,626,563 円
負債総額	103,817 円
純資産総額(-)	68,522,746 円
発行済数量	45,989,355 口
1単位当たり純資産額(/)	1.4900 円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

名義書換	該当事項はありません。
受益者等に対する特典	該当事項はありません。
譲渡制限の内容	譲渡制限は設けておりません。
受益証券の不発行	委託会社は、やむを得ない事情などがある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。 受益者は、委託会社がやむを得ない事情などにより受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。
受益権の譲渡	受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。 上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。 上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。
受益権の譲渡の対抗要件	受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。
受益権の再分割	委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法の規定に従い、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。
質権口記載または記録の受益権の取り扱い	振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる分配金の支払い、換金の申し込みの受け付け、換金代金および償還金の支払いなどについては、信託約款の規定によるほか、民法その他の法令などに従って取り扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

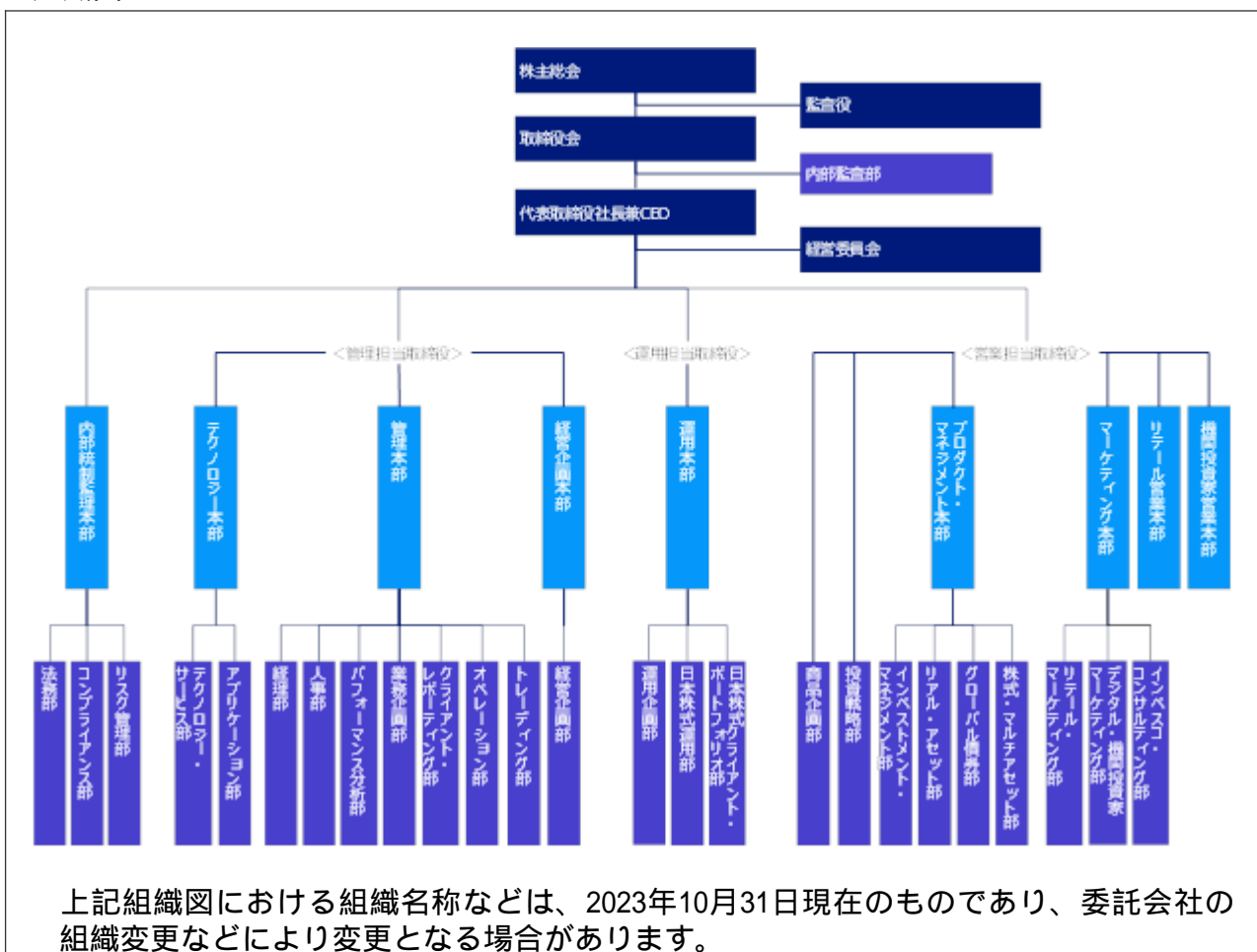
1【委託会社等の概況】

(1) 資本金の額

2023年10月31日 現在の状況	資本金：4,000百万円 発行可能株式総数：56,400株 発行済株式総数：40,000株
直近5カ年における主 な資本金の額の増減	該当事項はありません。

(2) 委託会社等の機構

組織図



会社の意思決定機構

取締役会	取締役の全員をもって構成される取締役会は、代表取締役社長兼CEOを議長とし、原則として四半期ごとに開催されます。取締役会は、経営管理全般に関する重要な事項について、取締役の過半数が出席し、出席取締役の過半数をもって決議します。
代表取締役社長兼CEO	代表取締役社長兼CEOは、委託会社の全般的な業務執行の最高責任者として、取締役会で決議された事項または委任を受けた事項の遂行に対し、権限と責任を有します。
経営委員会	取締役等から構成される経営委員会は、代表取締役社長兼CEOを議長とし、原則として隔月で開催されます。経営委員会は、取締役会で決定した基本方針に基づき、取締役会から委譲を受けた権限の範囲内において、経営管理全般に関する重要な事項を協議・決定します。

投資運用に関する意思決定プロセス

Plan（計画）	基本的な運用方針は、投資戦略委員会（原則、月次で開催）で分析・討議された投資環境を踏まえ、銘柄検討会議およびポートフォリオ構築/戦略会議（原則、週次あるいは日次で開催）を経て決定されます。
Do（実行）	運用部門のポートフォリオ・マネジャーは、上記の委員会または運用会議の討議内容等を踏まえ、運用計画書を策定し、運用本部長の承認を受け、運用ガイドライン、運用基本方針および運用計画書に従って、ポートフォリオを構築します。
See（検証）	運用リスク管理委員会(原則、月次で開催)は、リスク管理委員会(原則、隔月で開催)の分会として、定量的なリスク計測結果をもとに、運用の適切性・妥当性を検証、審議します。また、運用本部から独立したコンプライアンス部が、常時、関連法令および運用ガイドラインなどの遵守状況をチェックし、運用の信頼性・安定性の確保を図ります。

2【事業の内容及び営業の概況】

事業の内容	「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに、「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業および第二種金融商品取引業を行っています。												
運用する投資信託財産の合計純資産総額	(2023年10月31日現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基本的性格</th> <th>ファンド数</th> <th>純資産総額(単位：百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株式投資信託</td> <td>117</td> <td>6,097,885</td> </tr> <tr> <td>公社債投資信託</td> <td>3</td> <td>5,457</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>120</td> <td>6,103,342</td> </tr> </tbody> </table> <p>* ファンド数および純資産総額は、親投資信託を除きます。</p>	基本的性格	ファンド数	純資産総額(単位：百万円)	株式投資信託	117	6,097,885	公社債投資信託	3	5,457	合計	120	6,103,342
基本的性格	ファンド数	純資産総額(単位：百万円)											
株式投資信託	117	6,097,885											
公社債投資信託	3	5,457											
合計	120	6,103,342											

3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第2条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）ならびに同規則第38条及び第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
なお、財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）の財務諸表について、P w C あらた有限責任監査法人により監査を受けております。
また、当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間会計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）の中間財務諸表について、P w C あらた有限責任監査法人により中間監査を受けております。

1. 財務諸表

(1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

科目	前事業年度 (2021年12月31日)		当事業年度 (2022年12月31日)	
	内訳	金額	内訳	金額
(資産の部)				
流動資産				
預金		3,576,327		3,236,636
前払費用		107,011		108,908
未収入金		529,840		491,010
未収委託者報酬		767,081		760,616
未収運用受託報酬		739,216		761,870
未収投資助言報酬		19,368		17,791
短期貸付金 1		2,500,000		1,500,000
その他の流動資産		5,254		2,758
流動資産計		8,244,099		6,879,592
固定資産				
有形固定資産 2				
建物附属設備	103,190		85,342	
器具備品	77,823		45,740	
建設仮勘定	-		9,676	
リース資産	5,089	186,103	2,313	143,073
無形固定資産				
ソフトウェア	40,817		58,599	
ソフトウェア仮勘定	25,012		161	
電話加入権	3,972		5,932	
のれん	212,317		187,339	
顧客関連資産	1,138,121	1,420,240	1,004,224	1,256,257
投資その他の資産				
投資有価証券	4,202		3,341	
差入保証金	382,848		379,954	
繰延税金資産	624,435		544,593	
その他の投資	3,223	1,014,710	1,928	929,817
固定資産計		2,621,054		2,329,148
資産合計		10,865,154		9,208,740

科目	前事業年度 (2021年12月31日)		当事業年度 (2022年12月31日)	
	内訳	金額	内訳	金額
(負債の部)				
流動負債				
預り金		39,064		41,063
リース債務		3,058		2,554
未払金				
未払償還金	57		57	
未払手数料	213,983		185,551	
その他未払金	622,062	836,104	445,853	631,463
未払費用		266,286		283,683
未払法人税等		181,496		32,144
未払消費税等		187,182		75,514
賞与引当金		1,572,709		1,238,496
その他の流動負債		24,402		25,883
流動負債計		3,110,304		2,330,803
固定負債				
長期預り金		117,535		117,535
リース債務		2,554		-
退職給付引当金		805,942		809,385
役員退職慰労引当金		89,141		101,666
資産除去債務		124,686		124,634
固定負債計		1,139,860		1,153,222
負債合計		4,250,164		3,484,025
(純資産の部)				
株主資本				
資本金		4,000,000		4,000,000
資本剰余金				
資本準備金	1,406,953	1,406,953	1,406,953	1,406,953
資本剰余金合計		1,406,953		1,406,953
利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	1,206,386	1,206,386	316,191	316,191
利益剰余金合計		1,206,386		316,191
株主資本合計		6,613,339		5,723,144
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		1,650		1,570
評価・換算差額等合計		1,650		1,570
純資産合計		6,614,989		5,724,715
負債・純資産合計		10,865,154		9,208,740

(2)【損益計算書】

(単位：千円)

科目	前事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)		当事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	
	内訳	金額	内訳	金額
営業収益				
委託者報酬		3,650,140		5,087,840
運用受託報酬		3,670,393		3,044,397
投資助言報酬		101,860		128,504
その他営業収益		2,705,506		2,530,984
営業収益計		10,127,900		10,791,727
営業費用				
支払手数料		1,441,154		2,035,648
広告宣伝費		43,541		116,378
調査費				
調査費	401,252		447,375	
委託調査費	981,180		1,328,152	
図書費	2,552	1,384,985	2,491	1,778,018
委託計算費		365,183		359,575
営業雑経費				
通信費	16,640		9,656	
印刷費	81,889		82,712	
協会費	12,120	110,649	19,462	111,831
営業費用計		3,345,515		4,401,453
一般管理費				
給料				
役員報酬	98,976		99,143	
給料・手当	1,794,254		1,651,850	
賞与	338,224	2,231,455	230,603	1,981,597
交際費		7,812		12,364
寄付金		800		1,374
旅費交通費		9,941		26,017
租税公課		95,247		86,587
不動産賃借料		359,752		338,267
退職給付費用		264,228		207,070
役員退職慰労引当金繰入額		12,605		12,524
賞与引当金繰入額		1,545,554		1,247,619
減価償却費		246,375		235,413
福利厚生費		277,752		231,895
諸経費		1,611,927		1,669,020
一般管理費計		6,663,454		6,049,753
営業利益		118,930		340,520

科目	前事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)		当事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	
	内訳	金額	内訳	金額
営業外収益				
受取利息 1		50,694		38,472
保険配当金		5,423		5,314
雑益		186		120
営業外収益計		56,304		43,906
営業外費用				
支払利息		17		10
為替換算差損		15,238		26,420
固定資産除却損		4,152		794
ヘッジコスト配賦損益		17,091		56,044
営業外費用計		36,500		83,270
経常利益		138,734		301,157
税引前当期純利益		138,734		301,157
法人税、住民税及び事業税		218,809		111,475
法人税等調整額		57,202		79,877
法人税等計		161,606		191,352
当期純利益又は当期純損失()		22,871		109,805

(3)【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	4,000,000	1,406,953	1,406,953	1,229,257	1,229,257	6,636,210
当期変動額						
当期純損失（ ）				22,871	22,871	22,871
株主資本以外の項目の当期の変動額（純額）						
当期変動額合計（千円）	-	-	-	22,871	22,871	22,871
当期末残高	4,000,000	1,406,953	1,406,953	1,206,386	1,206,386	6,613,339

（単位：千円）

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	977	977	6,637,187
当期変動額			
当期純損失（ ）			22,871
株主資本以外の項目の当期の変動額（純額）	673	673	673
当期変動額合計（千円）	673	673	22,198
当期末残高	1,650	1,650	6,614,989

当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	4,000,000	1,406,953	1,406,953	1,206,386	1,206,386	6,613,339
当期変動額						
当期純利益				109,805	109,805	109,805
剰余金の配当				1,000,000	1,000,000	1,000,000
株主資本以外の項目の当期の変動額（純額）						
当期変動額合計（千円）	-	-	-	890,194	890,194	890,194
当期末残高	4,000,000	1,406,953	1,406,953	316,191	316,191	5,723,144

（単位：千円）

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,650	1,650	6,614,989
当期変動額			
当期純利益			109,805
剰余金の配当			1,000,000
株主資本以外の項目の当期の変動額（純額）	79	79	79
当期変動額合計（千円）	79	79	890,274
当期末残高	1,570	1,570	5,724,715

[注記事項]

（重要な会計方針）

1．有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）

2．固定資産の減価償却の方法

（1）有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、資産除去債務に係る建物附属設備及び2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物附属設備 5～18年

器具備品 3～15年

（2）無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な償却年数は20年であります。

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

（3）リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3．引当金の計上基準

（1）貸倒引当金

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。なお、当事業年度末に計上すべき貸倒引当金はありません。

（2）賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。

（3）退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、簡便法により、当事業年度末における自己都合退職による要支給額を計上しております。

（4）役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づき、当事業年度末における要支給額を計上しております。

4．外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、当事業年度末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は為替換算差益又は為替換算差損として処理しております。

5．収益及び費用の計上基準

当社は、投資運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬、投資助言報酬、その他営業収益を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。また、各報酬は、約款または契約書に定められた支払期日に支払いを受けております。

（1）委託者報酬

委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産価額を基礎として算定し、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

（２）運用受託報酬

運用受託報酬は、対象顧客との投資一任契約等に基づき純資産価額を基礎として算定し、対象口座の運用期間にわたり収益として認識しております。

（３）成功報酬

成功報酬は、対象となるファンドまたは口座の運用益に対する一定割合、もしくは特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬が確定する際に、それまでに計上された収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り、収益として認識しております。

（４）投資助言報酬

投資助言報酬は、対象顧客との投資助言契約に基づき純資産価額を基礎として算定し、あるいは投資助言契約に定められた額を、契約期間にわたり収益として認識しております。

（５）その他営業収益

その他営業収益は、当社のグループ会社との契約で定められた算式に基づき算定し、当社がグループ会社にサービスを提供する期間にわたり収益として認識しております。

（重要な会計上の見積り）

当事業年度の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌事業年度の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

（会計方針の変更）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、当該変更による当事業年度の財務諸表に与える影響はございません。

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」といいます。）等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号2019年7月4日）第44 - 2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、当該変更による当事業年度の財務諸表に与える影響はございません。

（未適用の会計基準等）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日）については、2023年12月期の期首より適用予定であります。なお、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

（貸借対照表関係）

1 関係会社に対する資産及び負債

各科目に含まれているものは、次のとおりであります。

	（単位：千円）	
	前事業年度 (2021年12月31日)	当事業年度 (2022年12月31日)
短期貸付金	2,500,000	1,500,000

2 有形固定資産の減価償却累計額

	（単位：千円）	
	前事業年度 (2021年12月31日)	当事業年度 (2022年12月31日)
有形固定資産の減価償却累計額	453,847	496,099

（損益計算書関係）

1 関係会社に対する収益及び費用

各科目に含まれているものは、次のとおりであります。

	（単位：千円）	
	前事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
受取利息	50,694	38,472

（株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	40,000	-	-	40,000

2 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

該当事項はありません。

当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	40,000	-	-	40,000

2 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	基準日	効力発生日
2022年3月30日	普通株式	1,000	2021年12月31日	2022年3月31日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの
該当事項はありません。

(リース取引関係)

1. オペレーティング・リース取引

(借主側)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年12月31日)	当事業年度 (2022年12月31日)
1年内	249,762	249,762
1年超	915,794	666,032
合計	1,165,556	915,794

なお、オペレーティング・リース取引の内容は、不動産賃借によるものであります。

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、主に投資助言・代理業及び投資運用業を行っており、資金計画に照らして、必要な資金（主にグループ本社より資本増資）を調達しております。デリバティブ等の投機的な取引は行わない方針であります。

（2）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

国内の未収入金に関しては、顧客の契約不履行によってもたらされる信用リスクに晒されており、国外拠点に対する外貨建ての債権債務に関しては、各月末から次月精算までの短期為替変動によるリスクに晒されております。また、投資有価証券は、主に投資信託であり、当社の投資信託設定のための小額資金投資で売買目的ではありません。未収入金等については、定期的に残高、期日を適切に把握する体制を整えております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については、次のとおりであります。

なお、「預金」「未収入金」「未収委託者報酬」「未収運用受託報酬」「未収投資助言報酬」「短期貸付金」「預り金」「未払手数料」「その他未払金」「未払費用」「未払法人税等」及び「未払消費税等」については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから注記を省略しております。

前事業年度（2021年12月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
投資有価証券			
その他有価証券	4,202	4,202	-
差入保証金	382,848	381,906	942
資産計	387,050	386,108	942
長期預り金	(117,535)	(117,233)	301
負債計	(117,535)	(117,233)	301

(*) 負債に計上されているものについては、()で示しています。

当事業年度（2022年12月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
投資有価証券			
その他有価証券	3,341	3,341	-
差入保証金	379,954	372,816	7,137
資産計	383,295	376,158	7,137
長期預り金	(117,535)	(115,252)	2,282
負債計	(117,535)	(115,252)	2,282

(*) 負債に計上されているものについては、()で示しています。

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

- レベル1の時価 : 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価
- レベル2の時価 : 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価
- レベル3の時価 : 観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

(1) 時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

前事業年度(2021年12月31日)

(単位:千円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
差入保証金	-	381,906	-	381,906
資産計	-	381,906	-	381,906
長期預り金	-	(117,233)	-	(117,233)
負債計	-	(117,233)	-	(117,233)

当事業年度(2022年12月31日)

(単位:千円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
差入保証金	-	372,816	-	372,816
資産計	-	372,816	-	372,816
長期預り金	-	(115,252)	-	(115,252)
負債計	-	(115,252)	-	(115,252)

(注1) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

「差入保証金」

返還されるまでの残存期間に応じた日本円のスワップカーブにおける利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

「長期預り金」

返還するまでの残存期間に応じた日本円のスワップカーブにおける利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

なお、(金融商品関係)の「1. 金融商品の時価等に関する事項」に記載の「投資有価証券」は、投資信託受益証券であり、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2019年7月4日)第26項の経過措置を適用しており、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」第5-2項の注記を行っておりません。

当該投資信託受益証券の貸借対照表計上額は(金融商品関係)の「1. 金融商品の時価等に関する事項」に記載しております。

(注2) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(2021年12月31日)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 10年以内	10年超
(1)預金	3,576,327	-	-
(2)未収入金	529,840	-	-
(3)未収委託者報酬	767,081	-	-
(4)未収運用受託報酬	739,216	-	-
(5)未収投資助言報酬	19,368	-	-
(6)短期貸付金	2,500,000	-	-
(7)差入保証金	-	382,848	-
合計	8,131,834	382,848	-

当事業年度(2022年12月31日)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 10年以内	10年超
(1)預金	3,236,636	-	-
(2)未収入金	491,010	-	-
(3)未収委託者報酬	760,616	-	-
(4)未収運用受託報酬	761,870	-	-
(5)未収投資助言報酬	17,791	-	-
(6)短期貸付金	1,500,000	-	-
(7)差入保証金	-	379,954	-
合計	6,767,925	379,954	-

（有価証券関係）

1. その他有価証券

前事業年度（2021年12月31日）

（単位：千円）

	取得原価	貸借対照表日における 貸借対照表計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価 を超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	1,823	4,202	2,378
小計	1,823	4,202	2,378
貸借対照表計上額が取得原価 を超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	-	-	-
小計	-	-	-
合計	1,823	4,202	2,378

当事業年度（2022年12月31日）

（単位：千円）

	取得原価	貸借対照表日における 貸借対照表計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価 を超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	1,077	3,341	2,264
小計	1,077	3,341	2,264
貸借対照表計上額が取得原価 を超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	-	-	-
小計	-	-	-
合計	1,077	3,341	2,264

2. 事業年度中に売却したその他有価証券

前事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

前事業年度におけるその他有価証券の売却はありません。

当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

当事業年度におけるその他有価証券の売却はありません。

（退職給付関係）

前事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、非積立型の確定給付型の制度として退職一時金制度を採用しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度

（1）簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

	(単位：千円)
	当事業年度 (2021年12月31日)
退職給付引当金の期首残高	776,659
退職給付費用	226,196
退職給付の支払額	164,168
その他の未払金への振替額	32,743
退職給付引当金の期末残高	805,942

（2）退職給付に関連する損益

	(単位：千円)
	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
簡便法で計算した退職給付費用	226,196

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は前事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）において、38,032千円であります。

当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、非積立型の確定給付型の制度として退職一時金制度を採用しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

(単位：千円)	
	当事業年度 (2022年12月31日)
退職給付引当金の期首残高	805,942
退職給付費用	172,579
退職給付の支払額	122,657
その他の未払金への振替額	46,478
退職給付引当金の期末残高	809,385

(2) 退職給付に関連する損益

(単位：千円)	
	当事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
簡便法で計算した退職給付費用	172,579

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）において、34,490千円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生的主要原因別の内訳

	前事業年度 (2021年12月31日)	当事業年度 (2022年12月31日)
(単位：千円)		
繰延税金資産		
賞与引当金	481,563	379,227
未払費用	30,164	37,043
未払退職金	2,039	29,464
株式報酬費用	83,634	79,237
退職給付引当金	246,779	247,833
役員退職給付引当金	27,295	31,130
資産除去債務	38,178	38,163
その他	40,007	29,934
繰延税金資産小計	949,663	872,035
評価性引当額	312,253	317,127
繰延税金資産合計	637,409	554,908
繰延税金負債		
資産除去債務	12,246	9,621
その他有価証券評価差額金	728	693
繰延税金負債合計	12,974	10,315
繰延税金資産（負債）の純額	624,435	544,593

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

前事業年度（2021年12月31日）

法定実効税率 (調整)	30.6%
交際費等永久に損金に算入されない項目	57.7%
住民税均等割等	2.7%
評価性引当額の増減額	18.6%
過年度法人税等調整額	0.2%
その他	6.4%

税効果会計適用後の法人税等の負担率	116.4%
-------------------	--------

当事業年度(2022年12月31日)

法定実効税率 (調整)	30.6%
交際費等永久に損金に算入されない項目	26.9%
住民税均等割等	1.2%
評価性引当額の増減額	1.6%
過年度法人税等調整額	0.7%
その他	2.3%

税効果会計適用後の法人税等の負担率	63.5%
-------------------	-------

（資産除去債務関係）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

（１）当該資産除去債務の概要

建物の不動産賃貸借取引に伴う原状回復義務等であります。

（２）当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から5年と見積り、割引率は 0.12%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

（３）当該資産除去債務の総額の増減

（単位：千円）

	前事業年度		当事業年度	
	(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)		(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	
当期首残高		81,946		124,686
建物の不動産賃貸借契約の更新に伴う再見積りによる増加額		42,850		-
時の経過による調整額		109		51
当期末残高		124,686		124,634

（収益認識関係）

1．顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、資産運用業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

前事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	投資助言報酬	その他営業収益	合計
基本報酬	3,650,140	2,881,144	101,860	2,705,506	9,338,652
成功報酬	-	789,248	-	-	789,248
合計	3,650,140	3,670,393	101,860	2,705,506	10,127,900

当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	投資助言報酬	その他営業収益	合計
基本報酬	5,087,840	2,786,700	128,504	2,530,984	10,534,030
成功報酬	-	257,697	-	-	257,697
合計	5,087,840	3,044,397	128,504	2,530,984	10,791,727

2．顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

重要な会計方針に関する注記の5．収益及び費用の計上基準に記載のとおりです。

3．顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

前事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

当社のセグメントは、投資運用業者として単一であるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

当社のセグメントは、投資運用業者として単一であるため、記載を省略しております。

[関連情報]

前事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

製品及びサービスごとの情報

製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同じであることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	米国	欧州	その他	合計
2,223,297	2,178,419	1,804,170	271,872	6,477,760

(注1) 営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(注2) 営業収益のうち委託者報酬に関しては、委託者報酬を最終的に負担する受益者の情報は制度上把握しえないため、除外しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

主要な顧客ごとの情報

(1) その他営業収益

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	その他営業収益	関連するセグメント名
Invesco Advisers, Inc.	1,601,256	投資運用業
Invesco Management SA	366,943	投資運用業

(2) 委託者報酬

委託者報酬については、制度上、顧客情報を知りえないため、記載を省略しております。

(3) 運用受託報酬

運用受託報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

(4) 投資助言報酬

投資助言報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

製品及びサービスごとの情報

製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同じであることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

地域ごとの情報

（1）営業収益

（単位：千円）

日本	米国	欧州	その他	合計
1,631,363	2,259,198	1,574,695	238,629	5,703,887

（注1）営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

（注2）営業収益のうち委託者報酬に関しては、委託者報酬を最終的に負担する受益者の情報は制度上把握しえないため、除外しております。

（2）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

主要な顧客ごとの情報

（1）その他営業収益

（単位：千円）

顧客の氏名又は名称	その他営業収益	関連するセグメント名
Invesco Advisers, Inc.	1,567,972	投資運用業
Invesco Management SA	271,145	投資運用業

（2）委託者報酬

委託者報酬については、制度上、顧客情報を知りえないため、記載を省略しております。

（3）運用受託報酬

運用受託報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

（4）投資助言報酬

投資助言報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

前事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

前事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等に限る。）等

前事業年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所有) 割合 (%)	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	Invesco Holdings Company Ltd.	Perpetual Park, Perpetual Park Drive, Henley-on-Thames, Oxfordshire, RG9 1HH, UK	16,298,746 千米ドル	持株会社	(被所有) 間接 100%	資金の貸付	利息の受取	50,694	短期貸付金	2,500,000

(注1) 資金の貸付の受取利息については、市場金利等を勘案して利率を合理的に決定しております。

当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所有) 割合 (%)	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	Invesco Holdings Company Ltd.	Perpetual Park, Perpetual Park Drive, Henley-on-Thames, Oxfordshire, RG9 1HH, UK	16,200,380 千米ドル	持株会社	(被所有) 間接 100%	資金の貸付	利息の受取	38,472	短期貸付金	1,500,000

(注1) 資金の貸付の受取利息については、市場金利等を勘案して利率を合理的に決定しております。

(2) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

前事業年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所有) 割合 (%)	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社の子会社	Invesco Advisers, Inc.	1555 Peachtree Street Atlanta, Georgia 30309, USA	6,867,943 千米ドル	投資運用業	なし	投資顧問契約の 再委任等	運用受託報酬 及びその他 営業収益の 受取	1,727,799	未収入金	234,224
親会社の子会社	Invesco Senior Secured Management, Inc.	1166 Avenue of the Americas New York, NY 10036, USA	4,502 千米ドル	投資運用業	なし	投資顧問契約の 再委任等	その他営業 収益の受取	442,739	未収入金	39,712

(注1) 取引金額、期末残高には消費税等が含まれておりません。

(注2) 運用受託報酬及びその他営業収益の算定方法については、第三者による検討結果に基づいたグループ内のポリシーにより決定しております。

当事業年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所有) 割合 (%)	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社の子会社	Invesco Advisers, Inc.	1555 Peachtree Street Atlanta, Georgia 30309, USA	6,867,943 千米ドル	投資運用業	なし	投資顧問契約の 再委任等	運用受託報酬 及びその他 営業収益の 受取	1,763,244	未収入金	264,565
親会社の子会社	Invesco Management SA	37A Avenue JF Kennedy, L-1855 Luxembourg	70,207 千ユーロ	投資運用業	なし	投資顧問契約の 再委任等	運用受託報酬 及びその他 営業収益の 受取	1,395,776	未収入金	115,224

(注1) 取引金額、期末残高には消費税等が含まれておりません。

(注2) 運用受託報酬及びその他営業収益の算定方法については、第三者による検討結果に基づいたグループ内のポリシーにより決定しております。

2. 親会社に関する注記

親会社情報

Invesco Far East Ltd. (非上場)

Invesco Holdings Company Ltd. (非上場)

Invesco Ltd. (ニューヨーク証券取引所に上場)

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
1株当たり純資産額 165,374円74銭	1株当たり純資産額 143,117円88銭
1株当たり当期純損失金額() 571円78銭	1株当たり当期純利益金額 2,745円12銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

	前事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
当期純利益又は 当期純損失()(千円)	22,871	109,805
普通株式に係る当期純利益又は 当期純損失()(千円)	22,871	109,805
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
期中平均株式数(株)	40,000	40,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間会計期間 (2023年6月30日)	
	内訳	金額
(資産の部)		
流動資産		
預金		3,767,388
前払費用		77,900
未収入金		450,510
未収委託者報酬		859,356
未収運用受託報酬		390,200
未収投資助言報酬		18,564
短期貸付金		1,500,000
その他の流動資産		296
流動資産計		7,064,216
固定資産		
有形固定資産 1		
建物附属設備	76,423	
器具備品	36,954	
建設仮勘定	14,050	
リース資産	925	128,353
無形固定資産		
ソフトウェア	49,369	
ソフトウェア仮勘定	2,607	
電話加入権	6,128	
のれん	174,849	
顧客関連資産	937,276	1,170,231
投資その他の資産		
投資有価証券	3,431	
差入保証金	380,326	
繰延税金資産	300,876	
その他の投資	1,762	686,396
固定資産計		1,984,981
資産合計		9,049,198

（単位：千円）

科目	当中間会計期間 (2023年6月30日)	
	内訳	金額
(負債の部)		
流動負債		
預り金		58,609
リース債務		1,022
未払金		
未払償還金	57	
未払手数料	235,159	
その他未払金	458,048	693,265
未払費用		453,491
未払法人税等		41,104
未払消費税等 2		145,362
賞与引当金		448,969
その他の流動負債		27,513
流動負債計		1,869,338
固定負債		
長期預り金		117,535
退職給付引当金		820,099
役員退職慰労引当金		109,725
資産除去債務		124,609
固定負債計		1,171,969
負債合計		3,041,307
(純資産の部)		
株主資本		
資本金		4,000,000
資本剰余金		
資本準備金	1,406,953	1,406,953
資本剰余金合計		1,406,953
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	599,304	599,304
利益剰余金合計		599,304
株主資本合計		6,006,258
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		1,633
評価・換算差額等合計		1,633
純資産合計		6,007,891
負債・純資産合計		9,049,198

(2)中間損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
	金額
営業収益	
委託者報酬	4,458,603
運用受託報酬	1,494,847
投資助言報酬	42,410
その他営業収益	1,285,808
営業収益計	7,281,669
営業費用	
支払手数料	1,988,465
その他営業費用	1,561,090
営業費用計	3,549,555
一般管理費 1	3,228,022
営業利益	504,091
営業外収益 2	50,204
営業外費用 3	24,687
経常利益	529,608
税引前中間純利益	529,608
法人税、住民税及び事業税	2,805
法人税等調整額	243,689
法人税等計	246,494
中間純利益	283,113

[注記事項]

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

 その他有価証券

 市場価格のない株式等以外のもの

 中間会計期間末日の基準価額により評価しております。(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

 定率法を採用しております。但し、資産除去債務に係る建物附属設備及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については定額法を採用しております。

 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

 建物附属設備 5～18年

 器具備品 3～15年

(2) 無形固定資産

 定額法を採用しております。

 なお、主な償却年数は20年であります。

 ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。なお、当中間会計期間末に計上すべき貸倒引当金はありません。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき、当中間会計期間に見合う分を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、簡便法により、当中間会計期間末における自己都合退職による要支給額を計上しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づき、当中間会計期間末における要支給額を計上しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、当中間会計期間末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は為替換算差損益として処理しております。

5. 収益及び費用の計上基準

当社は、投資運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬、投資助言報酬、その他営業収益を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。また、各報酬は、約款または契約書に定められた支払期日に支払いを受けております。

(1) 委託者報酬

委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産価額を基礎として算定し、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

(2) 運用受託報酬

運用受託報酬は、対象顧客との投資一任契約等に基づき純資産価額を基礎として算定し、対象口座の運用期間にわたり収益として認識しております。

(3) 成功報酬

成功報酬は、対象となるファンドまたは口座の運用益に対する一定割合、もしくは特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬が確定する際に、それまでに計上された収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り、収益として認識しております。

(4) 投資助言報酬

投資助言報酬は、対象顧客との投資助言契約に基づき純資産価額を基礎として算定し、あるいは投資助言契約に定められた額を、契約期間にわたり収益として認識しております。

(5) その他営業収益

その他営業収益は、当社のグループ会社との契約で定められた算式に基づき算定し、当社がグループ会社にサービスを提供する期間にわたり収益として認識しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」といいます。）を当中間会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将

来にわたって適用することとしております。なお、時価算定会計基準適用指針の適用による当期の中間財務諸表に与える影響はございません。

（中間貸借対照表関係）

1 有形固定資産の減価償却累計額

（単位：千円）

	当中間会計期間末 (2023年6月30日)
有形固定資産の減価償却累計額	518,206

2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、流動負債の「未払消費税等」として表示しております。

（中間損益計算書関係）

1 減価償却実施額は、次のとおりであります。

（単位：千円）

	当中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
有形固定資産	22,081
無形固定資産	92,031

2 営業外収益の主要な項目は、次のとおりであります。

（単位：千円）

	当中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
ヘッジコスト配賦損益	35,038
受取利息	15,083

3 営業外費用の主要な項目は、次のとおりであります。

（単位：千円）

	当中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
為替換算差損	24,685

（リース取引関係）

1 .オペレーティング・リース取引

（借主側）

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

（単位：千円）

	当中間会計期間末 (2023年6月30日)
1年以内	249,762
1年超	541,151
合計	790,913

なお、オペレーティング・リース取引の内容は、不動産賃貸契約によるものであります。

（金融商品関係）

1．金融商品の時価等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については、次のとおりであります。

なお、「預金」「未収入金」「未収委託者報酬」「未収運用受託報酬」「未収投資助言報酬」「短期貸付金」「預り金」「未払手数料」「その他未払金」「未払費用」「未払法人税等」及び「未払消費税等」については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから注記を省略しております。

当中間会計期間末（2023年6月30日）

（単位：千円）

	中間貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
投資有価証券			
其他有価証券	3,431	3,431	-
差入保証金	380,326	378,260	2,065
資産計	383,757	381,692	2,065
長期預り金	(117,535)	(116,874)	660
負債計	(117,535)	(116,874)	660

(*) 負債に計上されているものについては、()で示しています。

2．金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

(1) 時価で中間貸借対照表に計上している金融商品

（単位：千円）

	時価			合計
	レベル1	レベル2	レベル3	
投資有価証券				
其他有価証券	-	3,431	-	3,431
資産計	-	3,431	-	3,431

(2) 時価で中間貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

(単位：千円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
差入保証金	-	378,260	-	378,260
資産計	-	378,260	-	378,260
長期預り金	-	(116,874)	-	(116,874)
負債計	-	(116,874)	-	(116,874)

(注)時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

「投資有価証券」

中間会計期間末日の基準価額により評価しております。ただし、市場での取引頻度が高くなく、活発な市場における相場価格とは言えないため、レベル1には該当しません。また、観察可能なインプットを用いて算定されるため、レベル2に該当します。

「差入保証金」

返還されるまでの残存期間に応じた日本円のスワップカーブにおける利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

「長期預り金」

返還するまでの残存期間に応じた日本円のスワップカーブにおける利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

(有価証券関係)

その他有価証券

当中間会計期間末（2023年6月30日）

区分	取得原価 (千円)	中間貸借対照表 計上額 (千円)	差額 (千円)
中間貸借対照表計上額が取得 原価を超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	1,077	3,431	2,353
小計	1,077	3,431	2,353
中間貸借対照表計上額が取得 原価を超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	-	-	-
小計	-	-	-
合計	1,077	3,431	2,353

(資産除去債務関係)

資産除去債務の総額の増減

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
当期首残高	124,634
時の経過による調整額	25
当中間会計期間末残高	124,609

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、資産運用業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	委託者報酬	運用受託報酬	投資助言報酬	その他営業収益	合計
基本報酬	4,458,603	1,363,214	42,410	1,285,808	7,150,037
成功報酬	-	131,632	-	-	131,632
合計	4,458,603	1,494,847	42,410	1,285,808	7,281,669

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

重要な会計方針に関する注記の5. 収益及び費用の計上基準に記載のとおりです。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当中間会計期間末において存在する顧客との契約から当中間会計期間の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当社のセグメントは、投資運用業者として単一であるため、記載を省略しております。

[関連情報]

当中間会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

製品及びサービスごとの情報

製品・サービス区分の決定方法は、中間損益計算書の営業収益の区分と同じであることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	米国	欧州	その他	合計

843,961	1,113,097	767,457	98,549	2,823,066
---------	-----------	---------	--------	-----------

(注1) 営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(注2) 営業収益のうち委託者報酬に関しては、当社が運用している投資信託には公募投信が多数含まれており、委託者報酬を最終的に負担する受益者の情報は制度上把握しえないため、除外しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

主要な顧客ごとの情報

(1) その他営業収益

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	その他営業収益	関連するセグメント名
Invesco Advisers, Inc.	803,542	投資運用業

(2) 委託者報酬

委託者報酬については、制度上、顧客情報を知りえないため、記載を省略しております。

(3) 運用受託報酬

運用受託報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

(4) 投資助言報酬

投資助言報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当中間会計期間末 (2023年6月30日)
(1) 1株当たり純資産額	150,197円28銭

	当中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
(2) 1株当たり中間純利益金額	7,077円84銭
(算定上の基礎)	
中間純利益金額(千円)	283,113
普通株式に係る中間純利益(千円)	283,113
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式の期中平均株式数(株)	40,000

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

<p>金融商品取引法で禁止されている、利害関係人との取引行為</p>	<p>a . 自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。</p> <p>b . 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。</p> <p>c . 通常取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じです。）または子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じです。）と有価証券の売買その他の取引または店頭デリバティブ取引を行うこと。</p> <p>d . 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額または市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。</p> <p>e . 上記c . およびd . に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。</p>
------------------------------------	--

5【その他】

<p>定款の変更等</p>	<p>定款の変更は、株主総会の決議が必要です。</p>
<p>訴訟事件その他重要事項</p>	<p>訴訟、その他会社の経営に重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。</p>

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1)受託会社

名称	資本金の額 (2023年3月31日現在)	事業の内容
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

(2)販売会社

名称	資本金の額 (2023年3月31日現在)	事業の内容
株式会社SBI証券	48,323百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
楽天証券株式会社	19,495百万円	
PayPay銀行株式会社	72,216百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279百万円	

インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）のみの取り扱いを行います。

2【関係業務の概要】

受託会社	ファンドの受託会社として、投資信託財産の保管・管理・計算などを行います。 受託会社は、ファンドにかかる信託事務の一部につき、下記再信託受託会社に委託することができます。								
再信託受託会社の概要	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>日本マスタートラスト信託銀行株式会社</td> </tr> <tr> <td>資本金</td> <td>10,000百万円(2023年3月31日現在)</td> </tr> <tr> <td>事業の内容</td> <td>銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。</td> </tr> <tr> <td>再信託の目的</td> <td>原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を、原信託受託会社から再信託受託会社（日本マスタートラスト信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。</td> </tr> </tbody> </table>	名称	日本マスタートラスト信託銀行株式会社	資本金	10,000百万円(2023年3月31日現在)	事業の内容	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。	再信託の目的	原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を、原信託受託会社から再信託受託会社（日本マスタートラスト信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。
名称	日本マスタートラスト信託銀行株式会社								
資本金	10,000百万円(2023年3月31日現在)								
事業の内容	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。								
再信託の目的	原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を、原信託受託会社から再信託受託会社（日本マスタートラスト信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。								
販売会社	ファンドの販売会社として、受益権の募集・販売の取り扱いを行い、投資信託説明書（交付目論見書）・投資信託説明書（請求目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資に関する事務などを行います。								

3【資本関係】

受託会社	該当事項はありません。
販売会社	該当事項はありません。

第3【その他】

目論見書の名称等	目論見書の別称として「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」という名称を用いることがあります。
目論見書の表紙等の記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交付目論見書の表紙等に、以下の趣旨の事項を記載します。 <ul style="list-style-type: none"> - ファンドに関する「投資信託説明書（請求目論見書）」（以下「請求目論見書」といいます。）を含む詳細な情報は、委託会社のホームページに掲載しています。また、信託約款の全文は請求目論見書に記載しています。 - ファンドの商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号）に基づき、事前に受益者の意向を確認します。 - ファンドの投資信託財産は、信託法（平成18年法律第108号）に基づき、受託会社において分別管理されています。 ・ 請求目論見書の表紙等に、課税上は株式投資信託として取り扱われる旨を記載することがあります。 ・ 目論見書の表紙等に使用開始日を記載することがあります。 ・ 目論見書の表紙等または本文にロゴ・マーク、図案およびキャッチコピーを採用すること、またファンドの商品分類、お申し込みに関する事項などを記載することがあります。 ・ 目論見書の表紙等に、投信評価機関、投信評価会社などによるレーティング、評価情報および評価分類などを表示する場合があります。
請求目論見書の掲載事項	請求目論見書に、ファンドの信託約款を掲載します。
目論見書の使用方法等	目論見書は、電子媒体として使用される他、インターネットなどに掲載されることがあります。

独立監査人の監査報告書

2023年3月8日

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
取締役会 御中PwCあらた有限責任監査法人
東京事務所
指定有限責任社員 公認会計士 榊原康太
業務執行社員**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているインベスコ・アセット・マネジメント株式会社の2022年1月1日から2022年12月31日までの第33期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社の2022年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査役への責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役への責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の

注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2023年12月15日

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 榊原 康太
業務執行社員**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているインベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）の2023年4月18日から2023年10月16日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）の2023年10月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2023年12月15日

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 榊原 康太
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているインベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジあり>（毎月決算型）の2023年4月18日から2023年10月16日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジあり>（毎月決算型）の2023年10月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2023年9月12日

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

取締役会御中

PWCあらた有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 榊原康太
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているインベスコ・アセット・マネジメント株式会社の2023年1月1日から2023年12月31日までの第34期事業年度の中間会計期間（2023年1月1日から2023年6月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社の2023年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2023年1月1日から2023年6月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められる

かどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。